

工 事 番 号							
設計年度	令和7年度	<p>小原雨水排水ポンプ場機械設備工事</p> <p>三原市 沼田西町小原</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 20px;">仕 様 書</div>					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
<p>施工内容</p> <p>雨水ポンプ場機械設備 一式</p> <p>雨水排水ポンプφ350 N=2台</p> <p>スクリーン N=1基</p> <p>フラップゲート N=1基</p> <p>雨水ポンプ場電気設備 一式</p> <p>ポンプ制御盤 N=1面</p> <p>引込開閉器盤 N=1面</p> <p>投げ込み式水位計 N=1組</p>							

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市沼田西町小原 小原雨水排水ポンプ場機械設備工事に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ 下水道土木工事必携（案） 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
- ・ 下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
- ・ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
- ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
- ・ 機械設備標準仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- ・ 機械設備工事必携 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- ・ 機械設備工事一般仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- ・ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
- ・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
- ・ 電気設備工事必携 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- ・ 電気設備工事一般仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
- ・ その他関連規格類

### 第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、原則として請負代金額が1,000万円以上1億円未満の工事は中間検査を1回実施し、1億円以上の工事は2回実施する。

### 第3節 情報共有システム

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-24 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

### 第4節 コリンズ（CORINS）への登録

本工事におけるコリンズ（CORINS）への登録については、土木工事共通仕様書1-1-1-5及び1-1-2-4 コリンズ（CORINS）への登録 によらず次のとおりとする。

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績データを作成し、発注機関確認担当者情報を入力した「事前確認のお願い」をコリンズから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜、コリンズに登録をしなければならない。

登録対象は、工事請負代金額500万円以上（単価契約の場合は契約総額）の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。

また、コリンズが発行する「登録内容確認書」は、コリンズ登録時に監督職員にメール送信される。

なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。

また、本工事の完成後において訂正又は削除する場合においても同様に、コリンズから監督職員にメール送信し、速やかに監督職員の確認を受けた上で、コリンズに登録申請しなければならない。

受注者は、登録作業及び内容確認については次のとおり対応する。

[1]受注者は、工事実績データの作成及び~~※~~発注機関確認担当者情報の入力後、コリンズ上で「メール送信で提出」を選択する。

[2]受注者は、[1]によりメール送信された「事前確認のお願い」について監督職員の確認を受ける。

[3]受注者は、コリンズから送信される、確認年月日を明記した「登録のための確認のお願い（監督職員が登録内容を承認した旨のメール）」を確認し速やかに、コリンズへ登録する。

[4]「登録内容確認書」については、コリンズから監督職員にメール送信されるため、受注者による提示は必要ないものとする。

なお、受注者は、「低入札価格調査制度事務取扱要綱」による「低価格入札者」として契約した場合、工事実績情報システム（コリンズ）に工事実績情報を登録する際は、「低価格入札である」にチェックをした上で、「事前確認のお願い」を作成し、監督職員の確認を受けること。なお、低入札技術者については主任技術者として登録し、公告等で求める資格を満たすことを確認できる資料を提示すること。

※発注機関確認担当者情報は、次のURL（広島県の調達情報）に掲載される別紙1を参考にすること。

[https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/file/corins\\_koji\\_gyomu.pdf](https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/file/corins_koji_gyomu.pdf)

## 第5節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

## 第6節 法令及び条例等の遵守

1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。

- (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
- (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
- (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」

2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。

3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第7節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

### 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

### 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

### 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

- 4 工事現場の管理体制  
受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。
- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成  
受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。  
※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項  
ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。  
イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知  
受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表  
受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管  
受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求  
受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地  
(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名  
(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地  
(4) 建設発生土の搬出量  
(5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付  
受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

- 11 受領書の内容確認  
受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認  
受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合  
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合  
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード  
(4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

- 1 関連する別途工事
- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 工事名    | 小原雨水排水ポンプ場土木工事（仮称） |
| 影響箇所   | 全域                 |
| 他工事の内容 | ポンプ場土木工事           |
| 時期     | 令和7年10月～令和8年3月（予定） |
- 2 地下埋設物の事前調査
- |      |  |
|------|--|
| 調査項目 | 地下埋設物  |
| 調査時期 | 工事施工前に事前調査を行うこと。状況に応じて試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督職員と協議すること。） |
| 移設期間 | 別途協議   |

### 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

### 第3節 工食用道路

- 1 仮設道路
- |        |       |
|--------|-------|
| 搬入経路   | 指定しない |
| 工事後の処置 | 原形復旧  |

### 第4節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセリサイクルプラント

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

## 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第5節 その他

### 1 工事中機資材の仮置き

場所

受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

## 第3章 工事保険等

### 1 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

### 2 法定外の労災保険 の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第4章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。  
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

# 小原雨水排水ポンプ場機械設備工事

特記仕様書

〔 機械設備 〕

## §1 雨水排水ポンプ

### 1. 仕様概要

項目	仕様	備考
(1) 型式	ノンクログ型水中モータポンプ	着脱装置付
(2) 吐出口径	φ350 mm	
(3) 吐出量	12 m <sup>3</sup> /分	
(4) 揚程	5.0 m	
(5) 電動機	3φ×22kW×200V (相当) ×60Hz	
(6) 水中ケーブル長	約 10 m	
(7) ピット底から上部床までの高さ	約 4m	
(8) 台数	2 台	

### 2. 構造概要

本ポンプは、ポンプ槽に流入した雨水を排除するためのもので、水中において連続運転に耐える堅ろうな構造とする。

ポンプは、振動や騒音が少なく、円滑に運転できるとともに、特に有害なキャビテーション現象が発生しないような構造とする。

### 3. 製作条件

- (1) 取扱液は、ポンプ槽に流入した雨水とする。
- (2) ポンプは、締切起動が可能であること。

### 4. 各部の構造

#### (1) 駆動装置

ポンプに使用する電動機は、乾式水中型誘導電動機とする。

#### (2) 本体

##### 1) ケーシング

ケーシングは、内部圧力及び振動等に対する機械的強度並びに腐食、摩耗を考慮した良質の鋳鉄製品とする。ケーシングは、分解、組立が容易であり、分解する場合には、羽根車が主軸に取付けられたままで、上部に取出せる構造とすること。

配管との接続は着脱型式とし、ガイドパイプを設け、ピット内の床に設置する。

##### 2) 羽根車

羽根車は、良質強靱な製品とし、固形物の混入に対し堅ろうであること。

羽根車は、極力羽根数を少なくし、平衡を十分とるとともに、表面を滑らかに仕上げる。

##### 3) 主軸

主軸は、電動機軸を延長したもので、伝達トルク及び振り振動に対しても十分な強度を有すること。

##### 4) 軸封装置

軸封部にはメカニカルシールを用い、運転中、停止中を問わず、異物が電動機内に浸入しないよう中間に油を密封した二段構造とする。また、シール等の取替えが容易に行える構造とする。

##### 5) 軸受

回転部質量及び水カスラストは、電動機に内装した軸受にて支持するものとし、長時間の連続運転に耐え、円滑なる自己潤滑ができる構造とする。

6) フランジ

配管との接続フランジ寸法は、JIS B 2239（呼び圧力10K）またはJIS B 2062に準ずる。また、ポンプ井内配管及び分解用フランジのボルト・ナットはSUS304とする。

5. 使用材料

ケーシング	FC200以上
羽根車	高クロム鋳鉄（クロム含有量20%以上）
主 軸	13Crステンレス鋼

6. 保護装置

異常温度上昇を検知するサーマルスイッチを内蔵すること。  
油・水が電動機内に浸入しないよう浸水溜り室を設けること。浸水溜り室は、電  
動機室とメカニカルシール室から独立した構造とする。  
浸水溜り室には、浸水検知器を設け、浸水検知表示が可能な構造を持たせること。

7. 試験・検査

ポンプの検査は、機械設備工事一般仕様書に基づいて行うものとし、製作工場にて組立完了後、JIS B 8301に準拠した性能試験を行う。

8. 据 付

据付に当たっては、水準器等によって、正確に芯出し調整を行うこと。  
水中ケーブルは、ポンプの吊上げ、分解時に必要な長さとし、端子箱は原則として床上1.2m以上に取付けること。  
ピット内には、動力ケーブル及び吊上げ用チェンの支持金具（SUS304）を取付けること。

9. 他工事との区分

(1) 土木・建築工事との区分

原則として、機械コンクリート基礎、一部はつり工及び孔部分の復旧工事は本工事に含む。

(2) 電気設備工事との区分

端子箱及び端子箱までの水中ケーブルの配線接続は本工事とし、それ以降の配線接続は電気設備工事とする。

10. 標準付属品

水中ケーブル（端子箱まで）	1	式
吊上用チェン（SUS304製）	1	式
案内ガイドパイプ	1	式
基礎ボルト・ナット	1	式
連成計（隔膜式）	1	個
自動空気抜弁	1	個
動力ケーブル用端子箱	1	個
着脱装置	1	式
その他必要なもの	1	式

11. 特記事項

水中ケーブル長は電気設備工事と取り合い点を協議の上、決定すること。

## §2 ポンプ槽流入スクリーン

### 1. 仕様概要

項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	手掻きスクリーン	
(2) 池 寸 法	水路幅 1.5m×深さ約 1.7m	
(3) 設 計 水 深	約 1.6m	
(4) ス ク リ ー ン	目幅 75mm×取付角度 60°	
(5) 数 量	1 基	

### 2 構造概要

流入した雨水中の浮遊物を阻止し、ポンプを保護するものである。

### 3 製作条件

- (1) 本装置の各部の強度は十分な安全率をとるものとする。
- (2) 強度計算は水圧荷重が片側に掛かったものとして計算すること。
- (3) 装置各部の強度は十分であっても、腐食摩耗のおそれがある部分は肉厚を考慮する。
- (4) スクリーンの強度は水位差及び流入浮遊物、流入量等を検討し、十分強度的に問題のない構造とし、スクリーン本体は下流側から取外し出来る構造とする。

### 4 各部の構造

各部構造は次による。

- (1) 細目スクリーン
  - 1) スクリーンは、平鋼(FB75×9以上の歪みを確実に取除き、平鋼が等間隔になるようスペーサをはさみ、両ねじの通しボルトにて締付け組立てること。
  - 2) スクリーンは、水路側部固定金具にボルト・ナットにて取り付けるものとし、水路側部固定金具は両端を水路側壁にアンカーボルト(または必用に応じてケミカルアンカー)にて固定すること。
  - 3) アンカーボルトを使用する場合は、躯体鉄筋に接合し、充分強度を有すること。

### 5 使用材料

- (1) スクリーン 平鋼、形鋼(t9以上、SUS304)
- (2) その他接水要部(スペーサ) ステンレス鋼管(SUS304TP Sch40以上)
- (3) " (水路側部固定金具等) 平鋼、形鋼、鋼板(t9以上、SUS304)
- (4) " (ピン、通しボルト、ボルト・ナット等) ステンレス鋼(SUS304)

### 6 据 付

下記の点に留意すること。

- (1) スクリーンは指定された取付角度に正確に据付けること。

7 標準付属品

- |                              |     |
|------------------------------|-----|
| (1) アンカーボルト・ナット(またはケミカルアンカー) | 1 式 |
| (2) 熊手                       | 1 式 |
| (3) その他必要なもの                 | 1 式 |

### §3 配管設備

#### 1. 配管仕様及び施工範囲

番号	配管名	材質	口径 (A, φ)	施工範囲 ( ~ )	備考 (配管被覆等)
1	雨水圧送管	SGPW SUS	SGPW:350A SUS :350A Sch40	ポンプ～圧送管 図面による	SGPW :SGP-MN相当
2	吐出管ドレン	SGPW SUS	SGPW:150A, 80A SUS :80A Sch20s	圧送管～ポンプ槽 図面による	(泥吐き管)
3	可とう管	ゴム フランジ:SS	350A JIS-10K (両フランジ)	図面による	2個 (軸直角偏心量 200mm)
4	逆止弁(緩閉式)	FC 要部SUS	350A JIS-10K (両フランジ)	図面による	2個
5	偏心構造弁(手動)	FC 要部SUS	80A JIS-10K (両フランジ)	図面による	2個

#### 2. 特記事項

(1) 逆止弁下流部配管に吐出管ドレン、及び水抜きドレン弁を設ける事。(80A)

尚、ドレン排水は2台分とし、戻り先は、ポンプ井とする。

(2) その他、必要な配管及び付属品を含む。

## §4 鋼製加工品

### 1. 仕様概要

#### 1. 鋼製加工品仕様および施工範囲

番号	名称	設置場所	参考寸法	材質	数量	備考
1	ポンプ上部開口蓋	ポンプ槽	3,400 ×2,400	SUS製受枠: 土木工事 SS400+溶融亜鉛メッキ 製グレーチング I-44×5 (パッキンとも)	1式	2台分 (共通開口)
2	配管サポート	ポンプ槽		SS400+溶融 亜鉛メッキ	1式	ポンプ吐出管 ドレン管
3	ポンプ槽渡り歩廊	ポンプ槽 周辺		SS400+溶融亜鉛メッキ 形鋼・鋼板溶接構造 グレーチング部: SS400+溶 融亜鉛メッキ製F-25×3	1式	手摺り及び 防護フェンス付
4	雨水ポンプ着脱 ガイド支持金具	ポンプ槽		SUS	1式	分割グレーチング 支持用

### 2. 特記事項

- (1) ポンプ槽渡り歩廊の堤防側道路からの侵入防止対策として、3方向の防護フェンスを設置するとともに、出入り方向の端部には片開き扉を設け常時施錠し、安全上の一般進入を防止するものとする。
- (2) グレーチング部材はポンプの出し入れに支障なき様、適宜分割構造とし、配管貫通部用の開口部仕舞いを含むクローズドエンド仕様とする。
- (3) その他必要なものを含む

## §5 複合工

### 1. 各種基礎工仕様概要

#### 1. 仕様および施工範囲

番号	名 称	設置場所	主寸法	数量	備 考
1	スクリーン基礎	ポンプ槽 (底部・側部・上部)	図面による	1 式	
2	雨水ポンプ基礎	ポンプ槽底版	図面による	1 式	2台分
3	配管サポート基礎	ポンプ槽上部スラブ	図面による	1 式	逆止弁支持用
4	点検階段基礎	ポンプ槽	図面による	1 式	
5	ポンプ槽渡り歩廊基礎	ポンプ槽側、堤防側	図面による	各1 式	

#### 2. 特記事項

1) ポンプ槽渡り歩廊の堤防側道路に設置する基礎の築造に必要な掘削土工、基礎コンクリート(鉄筋コンクリート)工、捨てコンクリート工、栗石工、埋め戻し工、残土処分工等、必要な複合工の一切を含むものとする。

(2) その他必要なものを含む

# 小原雨水排水ポンプ場機械設備工事

特記仕様書

[ 電気設備 ]

## 第1章 電気設備工事

### 第1節 一般事項

#### 1. 概要

本工事は、排水ポンプ場電気設備の新設工事であり、新設工事に必要な一切の電気設備工事を行うものである。

#### 2. 機器構成

本工事に含まれる機器は、次の通りとする。

- |              |    |
|--------------|----|
| (1) 引込開閉器盤   | 1面 |
| (2) ポンプ制御盤   | 1面 |
| (3) 投込式水位計   | 1組 |
| (4) フリクトスイッチ | 1組 |
| (5) 場内照明     | 1台 |

#### 3. 工事範囲

本工事の施工範囲は、次の通りとする。

- (1) 前項記載の各機器の製作および据付工事
- (2) 前項記載の各機器相互間の各種ケーブル配線工事
- (3) 接地工事
- (4) 場内照明及びケーブルの据付工事
- (5) その他上記に伴う諸工事

## 第2節 機器仕様

### 1. 引込開閉器盤

- |                   |              |     |
|-------------------|--------------|-----|
| (1) 形 式           | 屋外装柱形 (SUS製) |     |
| (2) 寸 法           | 図面による        |     |
| (3) 盤面取付器具        |              |     |
| ①名称銘板             |              | 1 式 |
| ②確認用窓             |              | 1 式 |
| (4) 盤内収納器具        |              |     |
| ①電力量計取付スペース       |              | 1 式 |
| ②漏電遮断器 (3P 225AF) |              | 1 台 |
| ③漏電遮断器 (2P 30AF)  |              | 1 台 |
| ④端子台及び内部配線        |              | 1 式 |
| (5) その他必要なもの      |              | 1 式 |

### 2. ポンプ制御盤

- |                   |              |     |
|-------------------|--------------|-----|
| (1) 形 式           | 屋外自立形 (SUS製) |     |
| (2) 寸 法           | 図面による        |     |
| (3) 盤面取付器具        |              |     |
| ①名称銘板             |              | 1 式 |
| ②確認用窓             |              | 1 式 |
| ③操作小扉             |              | 1 式 |
| ④交流電流計            |              | 2 台 |
| ⑤水位指示計            |              | 1 台 |
| ⑥運転時間計            |              | 2 台 |
| ⑦集合表示灯            |              | 1 式 |
| ⑧状態表示灯            |              | 1 式 |
| ⑨切換スイッチ (2 点)     |              | 1 個 |
| ⑩切換スイッチ (3 点)     |              | 1 個 |
| ⑪押釦スイッチ           |              | 6 個 |
| ⑫発電機ケーブル引込口       |              | 1 式 |
| (4) 盤内収納器具        |              |     |
| ①名称銘板             |              | 1 式 |
| ②漏電遮断器 (3P 225AF) |              | 1 台 |
| ③漏電遮断器 (3P 125AF) |              | 2 台 |
| ④漏電遮断器 (3P 30AF)  |              | 2 台 |

⑤漏電遮断器 (2P 30AF)	7 台
⑥スターデルタ始動回路 (22kW)	2 組
⑦進相コンデンサ (300 $\mu$ F)	2 台
⑧電磁接触器	1 式
⑨計器用変流器 (100/5A)	2 台
⑩ 3Eリレー	2 個
⑪電源切換開閉器 (3P 200A)	1 台
⑫電源切換開閉器 (2P 30A)	1 台
⑬ミニUPS (常時インバータ給電方式 1 $\phi$ 2W 100V 0.5kVA 停電補償時間 30分)	1 台
⑭警報設定器 (2点)	3 台
⑮ディストリビュータ	1 式
⑯アレスタ (電源用)	1 式
⑰アレスタ (計装用)	1 式
⑱補助継電器類 (継電器、タイマー等)	1 式
⑲ヒューズ	1 式
⑳コンセント (三相)	1 個
㉑コンセント (单相)	1 個
㉒盤内スイッチ	1 式
㉓非常通報装置 (ルータ、アンテナ等を含む)	1 式
参考型番：コルソス CSDJ-D [NECプラットフォームズ (株)]	
通報点数：約6点	
WEBサーバによる遠方監視：DI約8点、AI約1点	
通信方式：LTE回線	
その他：通報後、故障復帰した場合は、故障復帰の通報を行う。	
㉔端子台及び内部配線	1 式
(5)その他必要なもの	1 式
(6)嵩上げ鋼製架台	1 式

### 3. 投込式水位計

- |                  |         |      |
|------------------|---------|------|
| (1)形 式           | 投込式     |      |
| (2)測定対象          | 雨水      |      |
| (3)測定レンジ         | 0～約3.3m |      |
| (4)構 成           |         |      |
| ①検出器・変換器         |         | 1組   |
| ②専用ケーブル          |         | 約20m |
| ③吊下チェーン (SUS316) |         | 1式   |
| (5)主要材質          | SUS316  |      |
| (6)その他必要なもの      |         | 1式   |

### 4. フリクトレベルスイッチ

- |         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| (1)形 式  | 浮子転倒式レベルスイッチ                       |
| (2)接 点  | a 接点                               |
| (3)材 質  | フロート 硬質塩ビ、アクリル樹脂<br>接液部 塩ビ、SUS 304 |
| (4)付属品  | 保持器・錘・ステンレスワイヤ                     |
| (5)計測条件 | 測定深さ：約3.3m、レベルスイッチ5個＋付属品           |

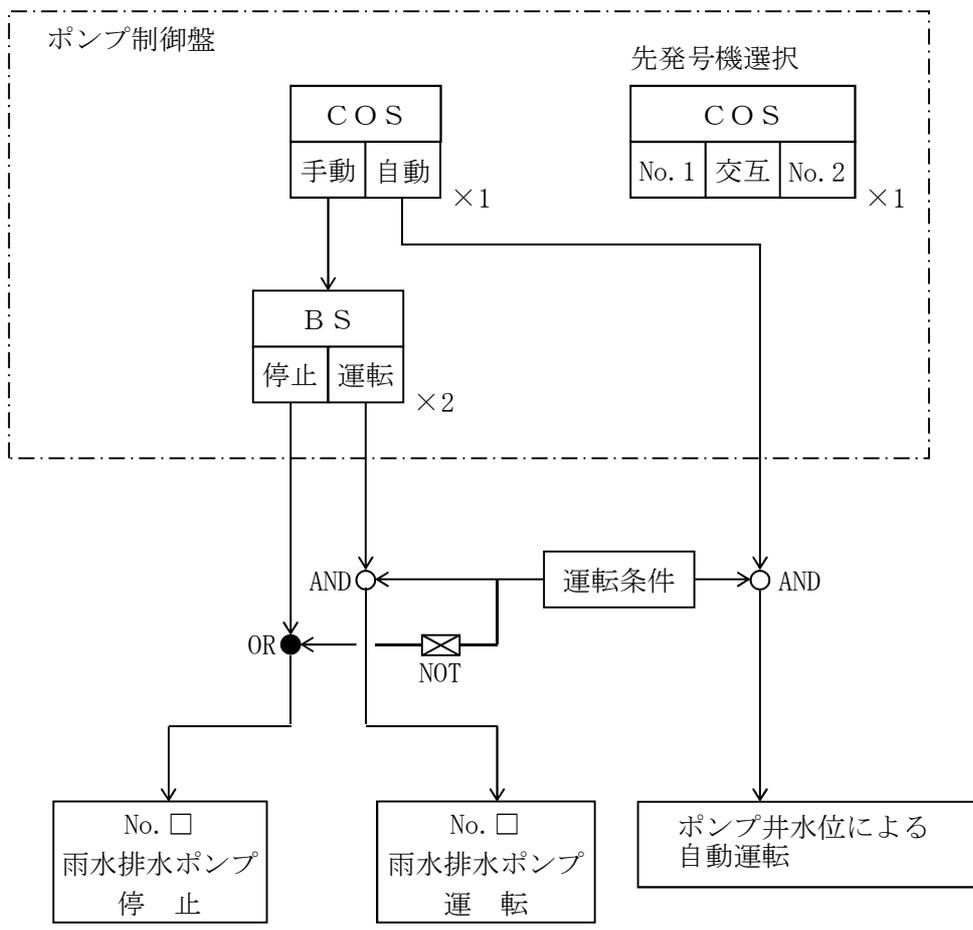
### 5. 場内照明

- |         |                     |
|---------|---------------------|
| (1)機 種  | LST4-60             |
| (2)材 質  | メーカー標準              |
| (3)電源仕様 | 1φ100V級             |
| (4)付属品  | ポール T3.5<br>メーカー標準品 |

### **第3節 運転操作方案**

本工事の運転操作方案は、標準的な機器の運転操作の概要を示しているものであり、詳細については、打ち合わせによって決定する。

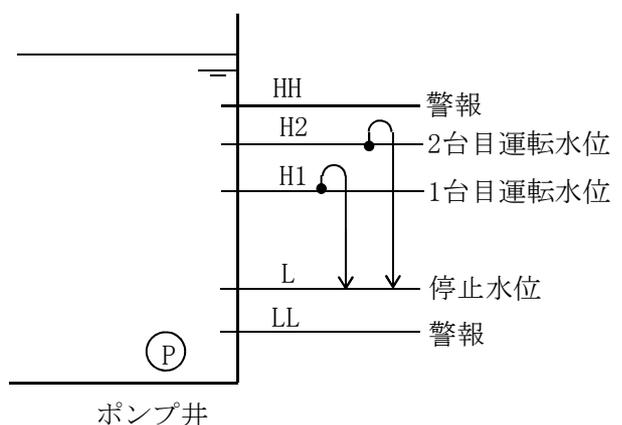
区分	雨水ポンプ設備	機器名称	No. □雨水排水ポンプ(□:1,2)	容量	22kW
運転方式				今回 2 台	全体 2 台



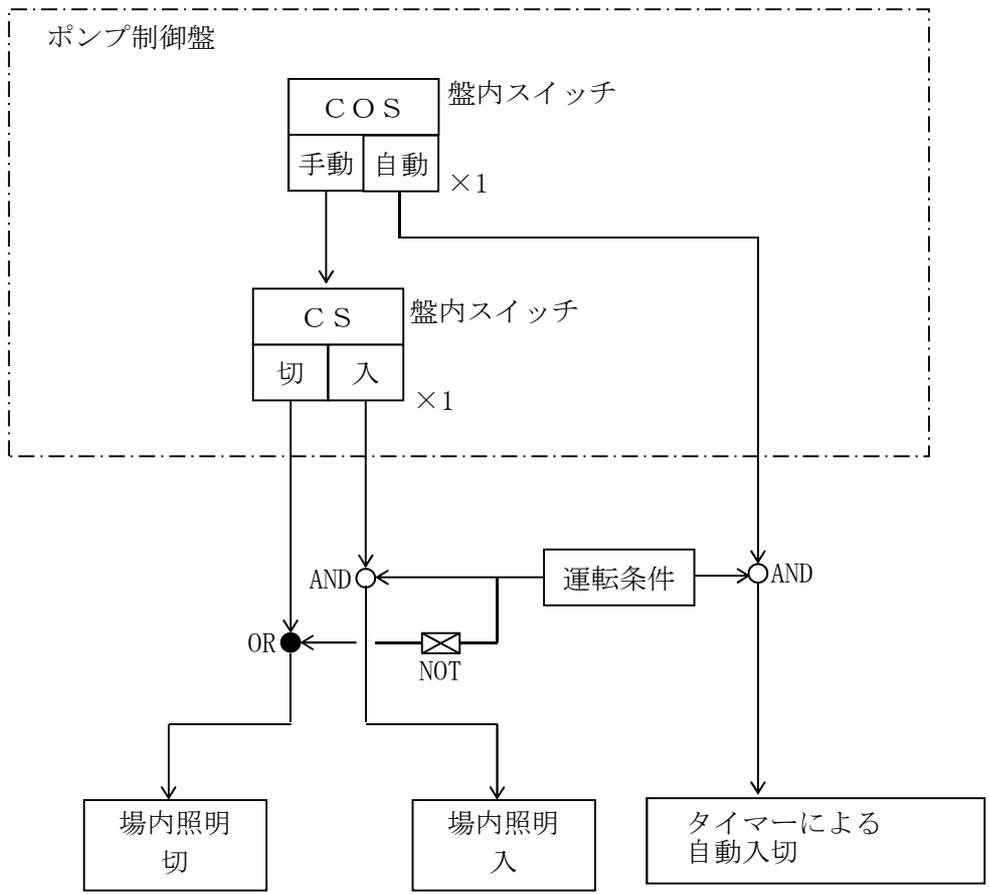
運転条件

- ・ ELCB断でない。
- ・ 保護R y 動作中でない。
- ・ 浸水でない。
- ・ 温度上昇でない。
- ・ ポンプ井水位LLでない。

※ 1 : 故障号機は飛び越し運転するものとする。



区分	照明設備	機器名称	場内照明	容量	0.1kW
運転方式				今回	1台
				全体	1台



運転条件

- ・ ELCB断でない。



# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
設備工（機器費）		式	1	レベル1
ポンプ設備工		式	1	レベル2
ポンプ設備工		式	1	レベル3
設計技術費対象		式	1	レベル4
** 機器費 **				
設備工		式	1	レベル1
ポンプ設備工		式	1	レベル2
輸送費		式	1	レベル3
輸送費		式	1	レベル4
材料費		式	1	レベル3
直接材料費		式	1	レベル4
補助材料費		式	1	レベル4
労務費		式	1	レベル3
一般労務費		式	1	レベル4
機械設備据付労務費		式	1	レベル4
複合工費		式	1	レベル3
撤去工		式	1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
復旧工		式	1	レベル4
土工		式	1	レベル4
鋼製架台工		式	1	レベル4
複合工(フラップゲート)		式	1	レベル4
直接経費		式	1	レベル3
機械経費		式	1	レベル4
仮設費		式	1	レベル3
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
準備費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 据付工事原価 **				
設計技術費				



# 工事数量総括表

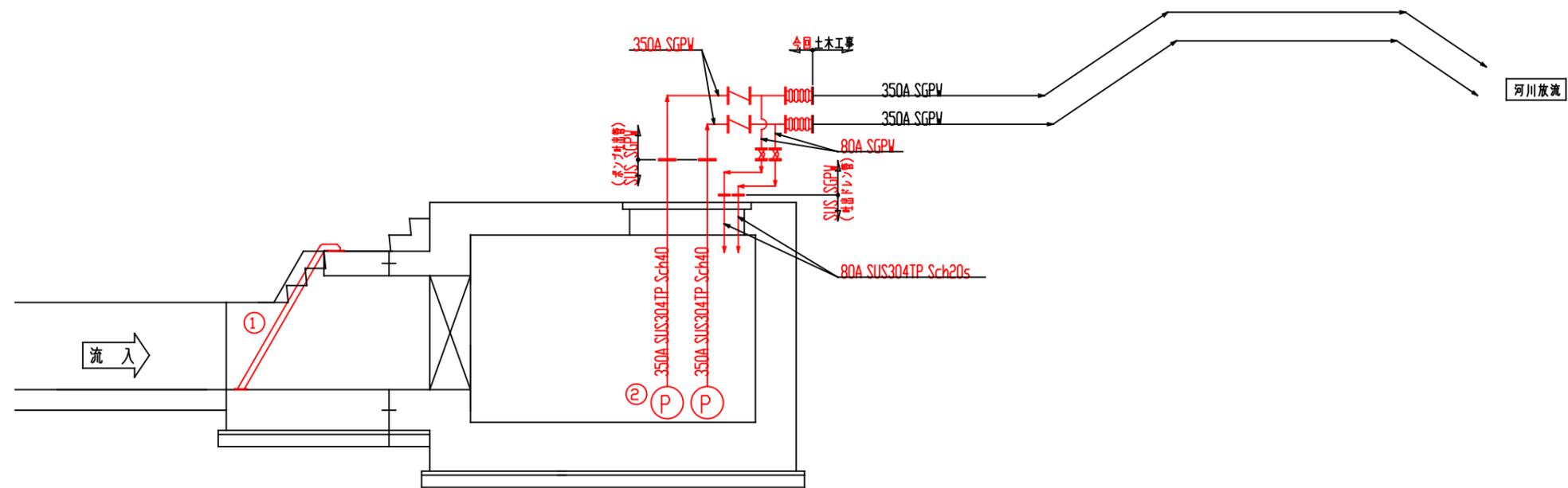
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
設備工（機器費）		式	1	レベル1
電気設備工		式	1	レベル2
電気設備工		式	1	レベル3
設計技術費対象		式	1	レベル4
** 機器費 **				
設備工		式	1	レベル1
電気設備工		式	1	レベル2
輸送費		式	1	レベル3
材料費		式	1	レベル3
直接材料費		式	1	レベル4
補助材料費		式	1	レベル4
労務費		式	1	レベル3
一般労務費		式	1	レベル4
技術労務費		式	1	レベル4
複合工費		式	1	レベル3
複合工		式	1	レベル4
直接経費		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
機械経費		式	1	レベル4
仮設費		式	1	レベル3
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
準備費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
据付（機 器）間接費				
** 据付工事原価 **				
設計技術費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分額				
契約保証費				
** 一般管理費計 **				



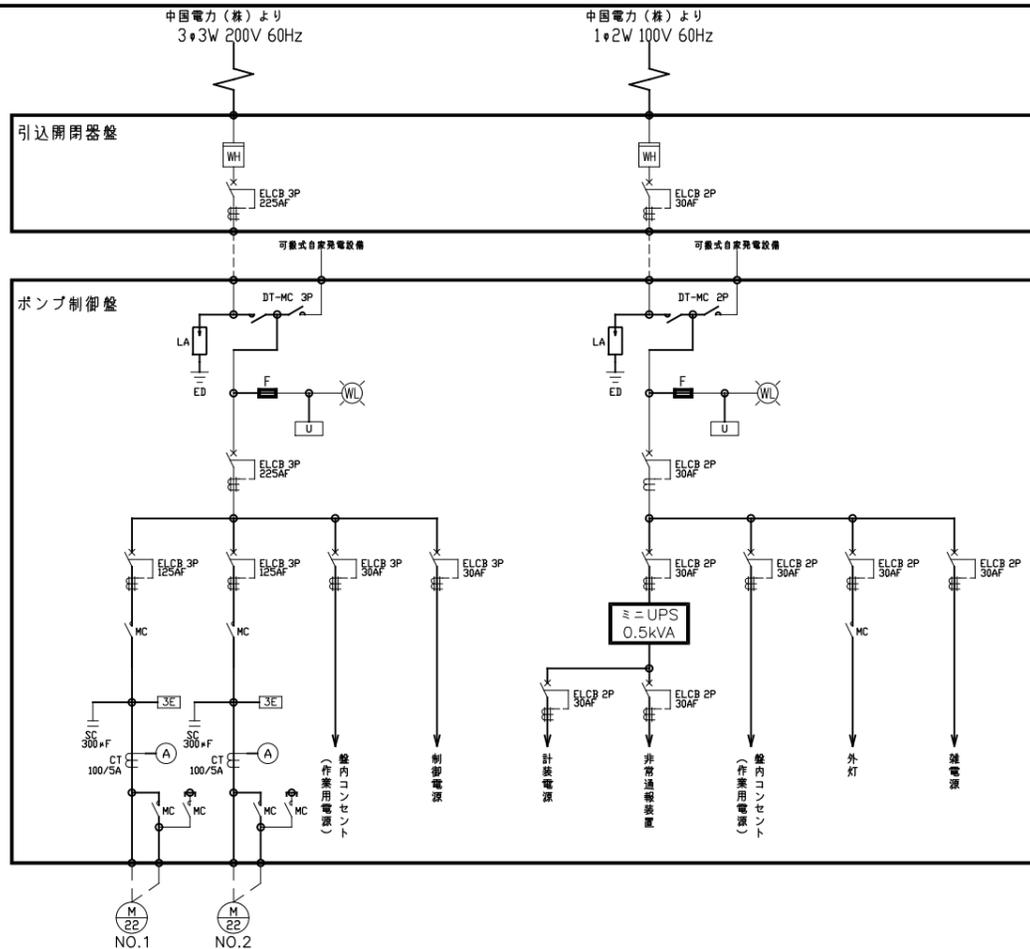
凡 例	
記号	名称
∟	逆止弁
⊠	手動偏心構造弁
∩	可とう管



機器番号	①	②
機器名称	ポンプ箱流入スクリーン	雨水排水ポンプ
形式	手掻きスクリーン	ノンクログ製水中モータポンプ
仕様	本器φ1,500mm×高さ1,700mm	φ350×12m <sup>3</sup> /分×5.0m 22kW
数量	今回 1 全体 1	2 2
備考	有効目巾75mm	着脱装置付

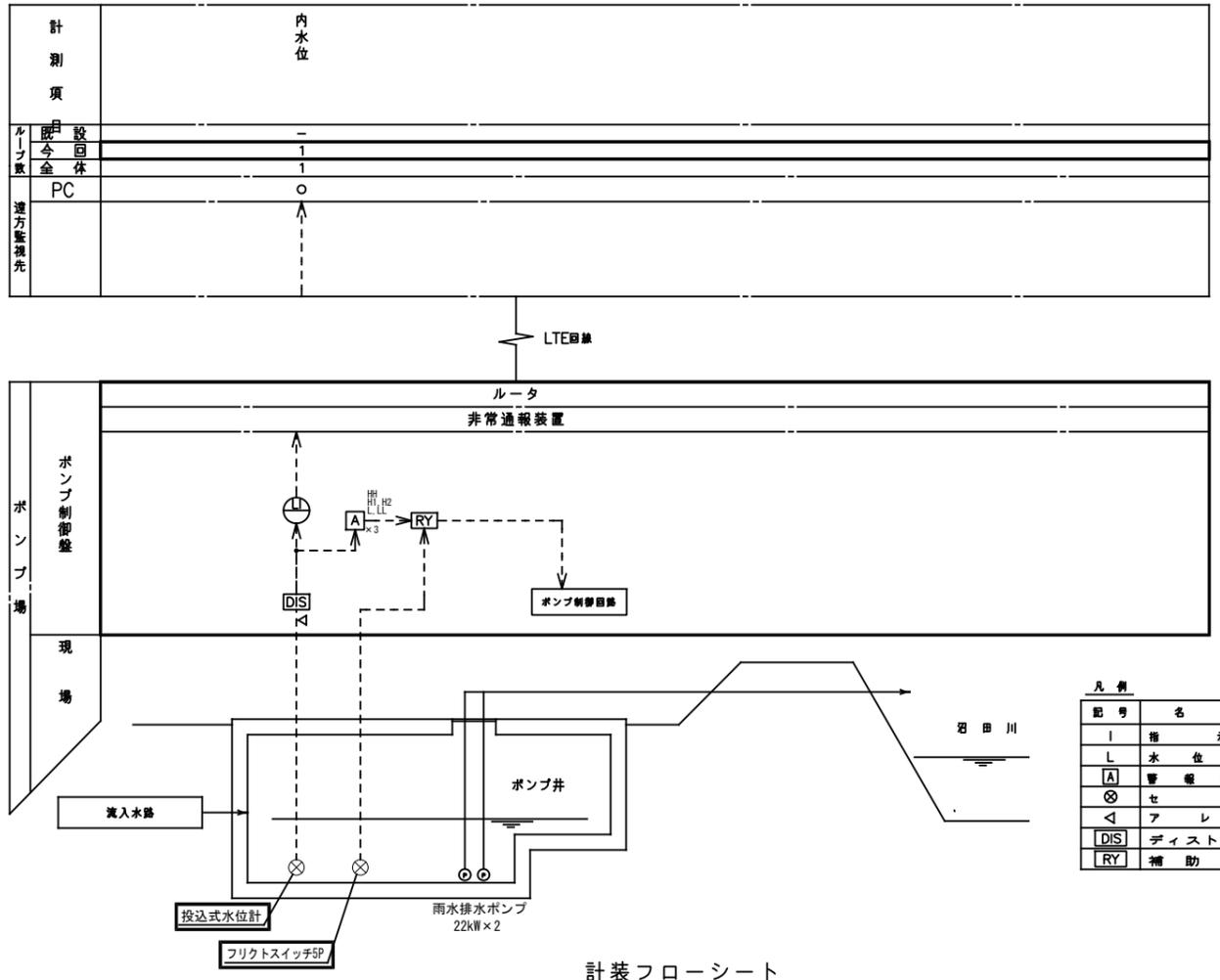
図面番号	1	縮尺	1/NON
工種	小原雨水排水ポンプ場機械設備工事		
種別	機械設備フローシート	番号	/
路線名	小原雨水排水ポンプ場		
工事箇所	三原市沼田西町小原		
三原市			





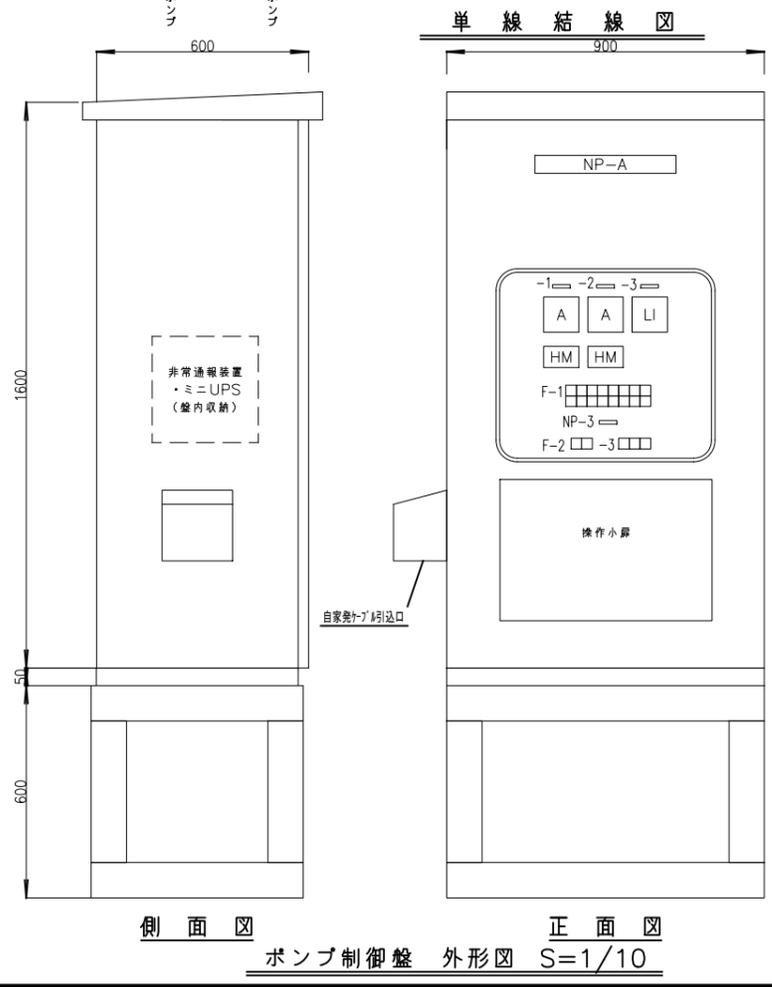
凡例

記号	名称
MCCB	配線用しゃ断器
ELCB	漏電用しゃ断器
MC	電磁接触器
	熱動形過電流継電器
3E	3Eリレー
CT	計器用変流器
SC	進相コンデンサ
WL	表示灯
LA	避雷器
ED	D種接地
	交流電流計
WH	電力量計
	電圧継電器



凡例

記号	名称
I	指示計
L	水位・液位
	警報設定器
	センサ
	アレスタ
DIS	ディストリビュータ
RY	補助継電器



凡例

記号	名称
NP-A	ポンプ制御盤
-B	引込開閉器盤
-1	NO.1雨水排水ポンプ
-2	NO.2雨水排水ポンプ
-3	内水位
COS-1	手動-自動
-2	No.1-自交-No.2
CS-1	押ボタン 運転
-2	押ボタン 停止
-1	押ボタン 故障復帰
-2	押ボタン ランプテスト
A	電流計
LI	水位指示計
HM	運転時間計

F-1

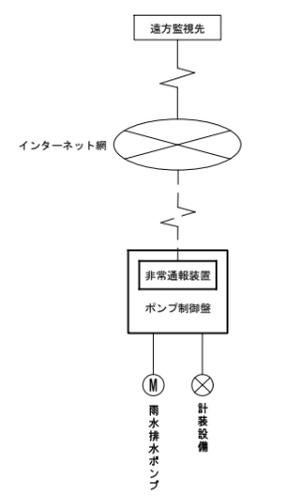
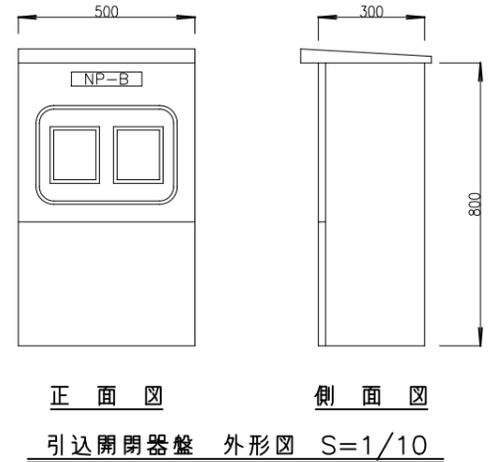
200V電源	200V主幹 MCCB トリップ	NO.1 雨水排水ポンプ 運転	NO.1 雨水排水ポンプ 過負荷	NO.1 雨水排水ポンプ 地絡	NO.1 雨水排水ポンプ 過熱	NO.1 雨水排水ポンプ 浸水	内水位異常高
100V電源	100V主幹 MCCB トリップ	NO.2 雨水排水ポンプ 運転	NO.2 雨水排水ポンプ 過負荷	NO.2 雨水排水ポンプ 地絡	NO.2 雨水排水ポンプ 過熱	NO.2 雨水排水ポンプ 浸水	(空)

F-2

手動	自動
----	----

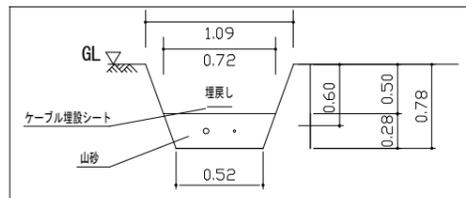
F-3

No.1	自交	No.2
------	----	------

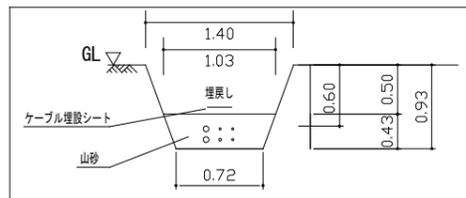


注記  
 1. は今回を示す。  
 2. 外形図は参考とし、承諾図にて決定する。

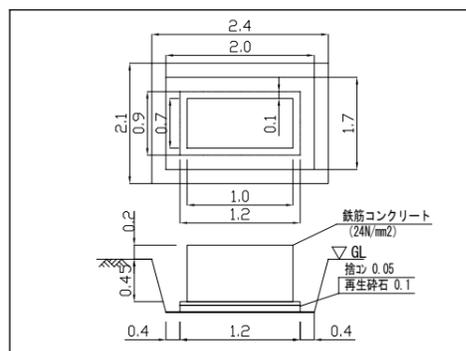
図面番号	3	縮尺	1/NON
工種	小原雨水排水ポンプ場機械設備工事		
種別	単線結線図・計装フローシート・盤外形図		
路線名	小原雨水排水ポンプ場		
工事箇所	三原市沼田西町小原		
三原市			



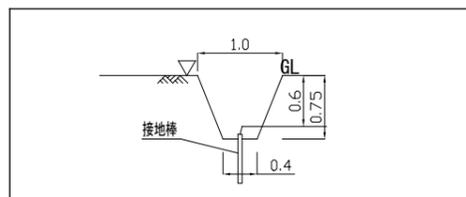
埋設1断面図 (参考) S=NON



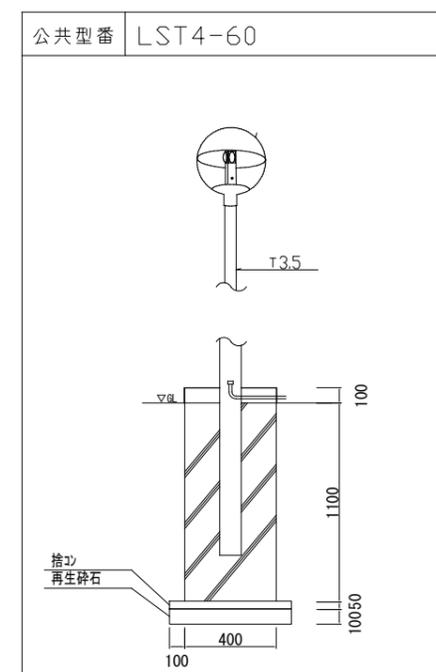
埋設2断面図 (参考) S=NON



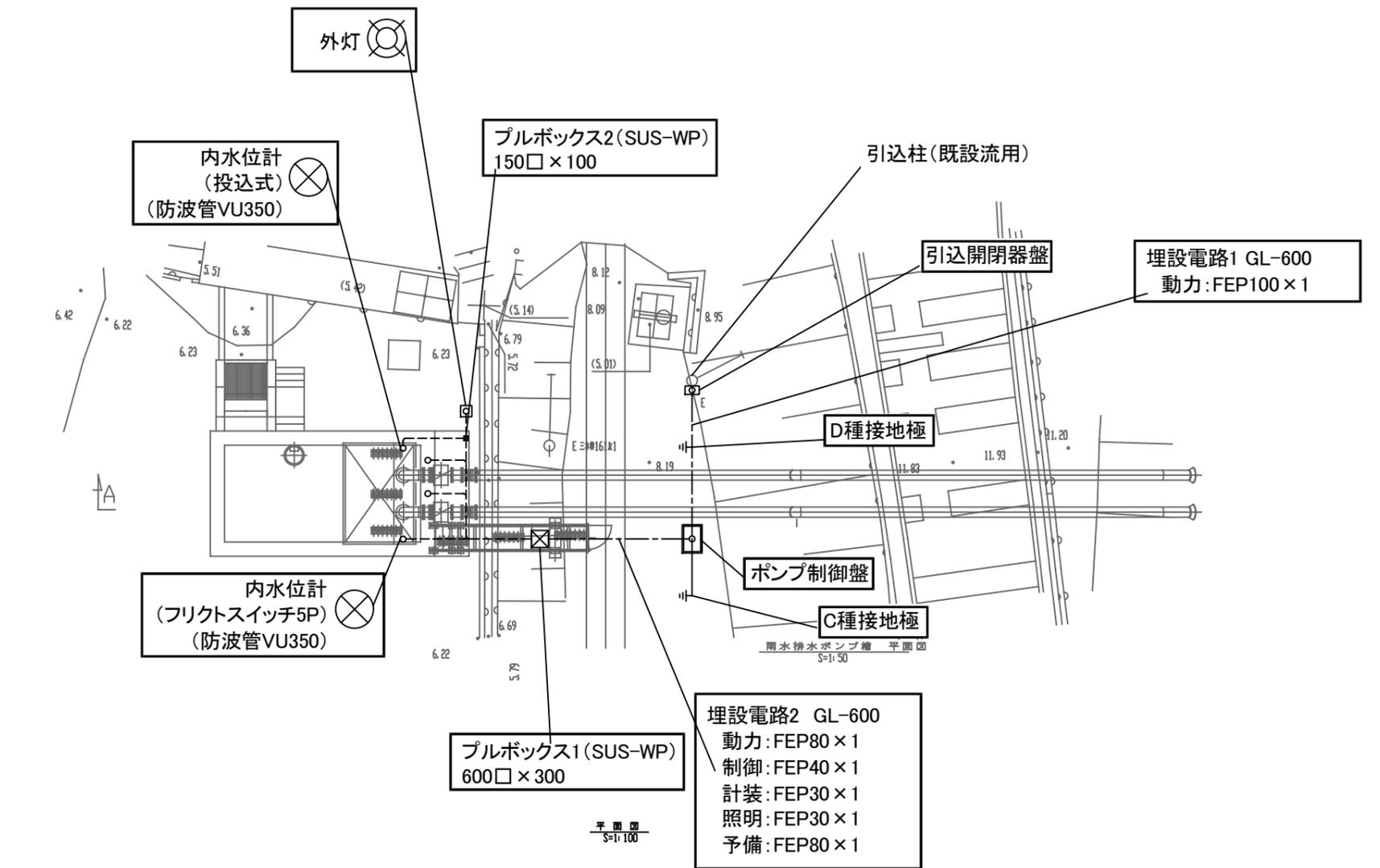
屋外盤基礎 (参考) S=NON



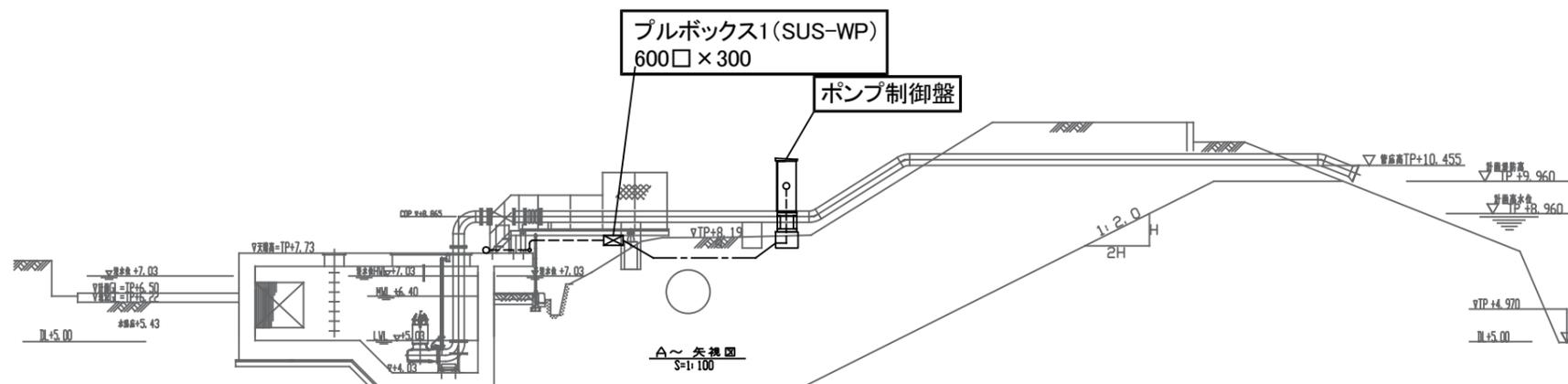
接地極埋設断面図 (参考) S=NON



外灯基礎図 (参考) S=NON



平面図 S=1/100



A~矢視図 S=1/100

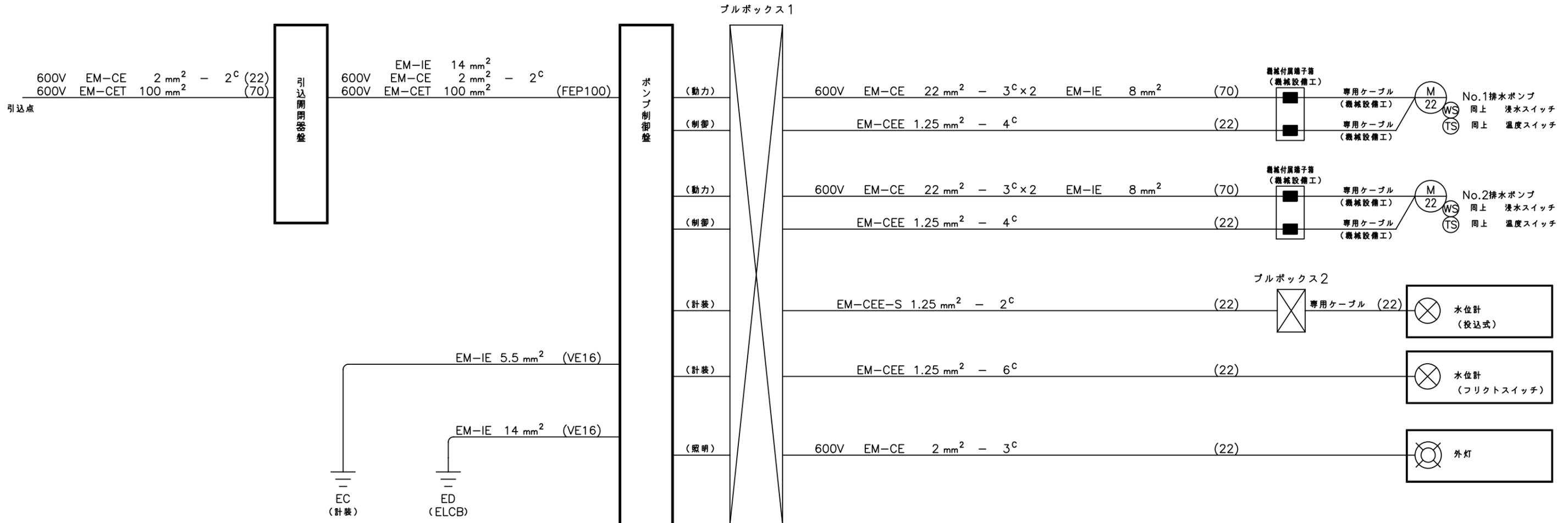
凡例

線種	名称
---	地中埋設配管内配線
- - -	露出電線管内配線

注記  
 1. □ は、今回新設を示す。  
 2. 特記なきものは、既設又は他工種工事を示す。

図面番号	4	縮尺	1/NON
工種	小原雨水排水ポンプ場機械設備工事		
種別	配線図	番号	/
路線名	小原雨水排水ポンプ場		
工事箇所	三原市沼田西町小原		
三原市			

# 配線系統図

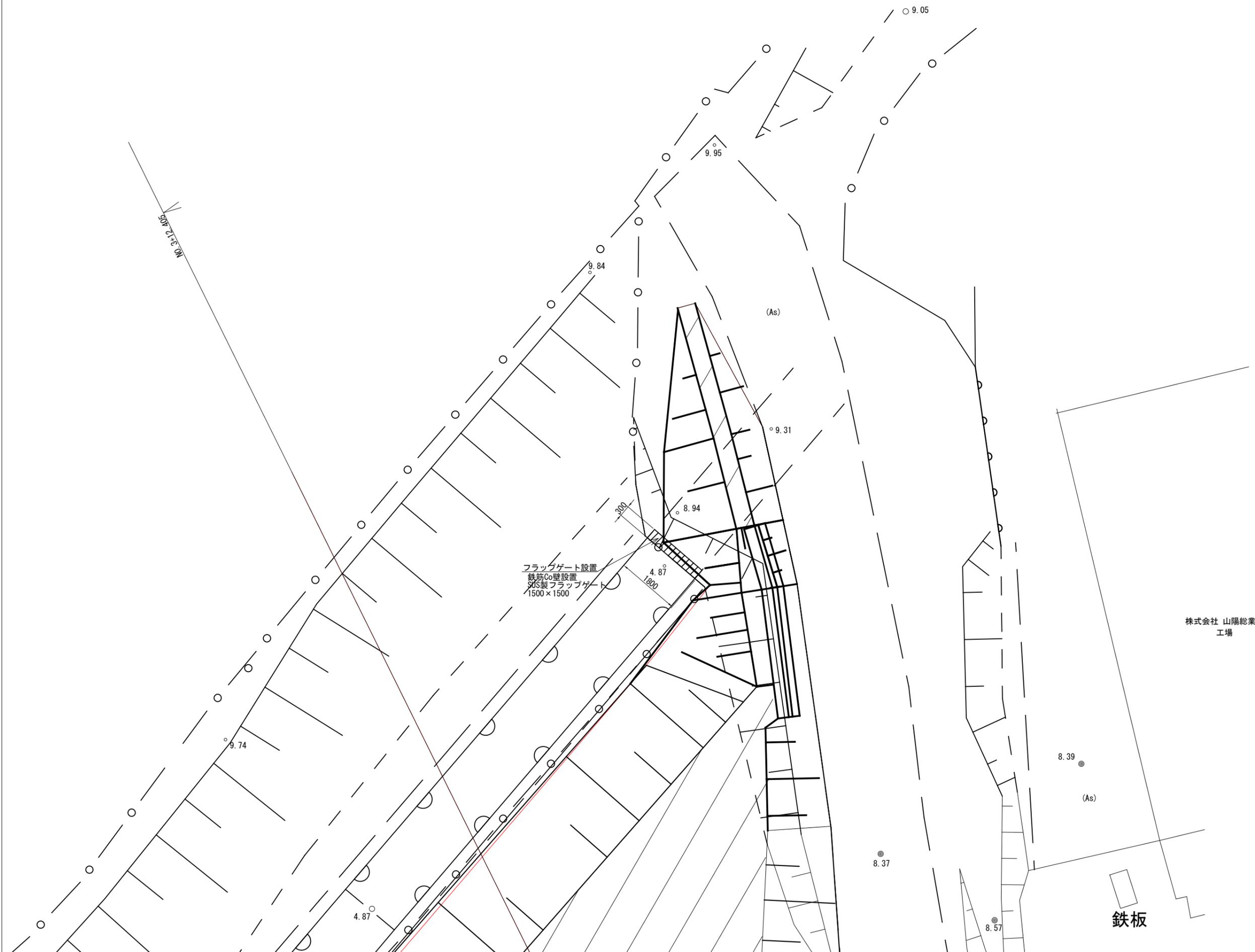


- ・ポンプ制御盤～ブルボックス1 埋設電線管  
 動力：(FEP80)  
 制御：(FEP40)  
 計装：(FEP30)  
 照明：(FEP30)  
 予備：(FEP80)

注 記	
1.	□、— は、今回新設を示す。
2.	特記なき電線管は、厚鋼電線管を示す。

図面番号	5	縮尺	1/NON
工 種	小原雨水排水ポンプ場機械設備工事		
種 別	配線系統図	番 号	/
路線 河川 名	小原雨水排水ポンプ場		
工事箇所	三原市沼田西町小原		
三 原 市			

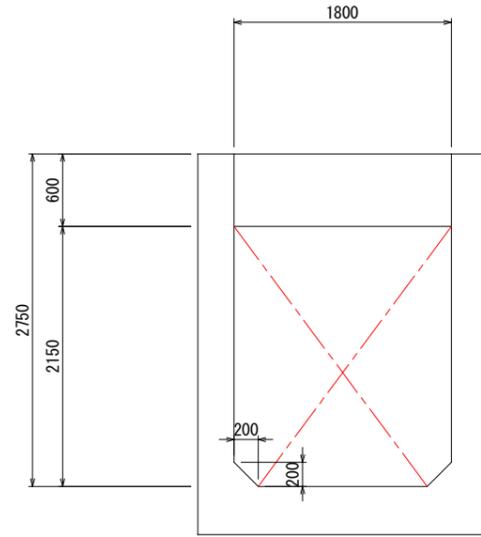
フラップゲート設置平面図 S=1:50



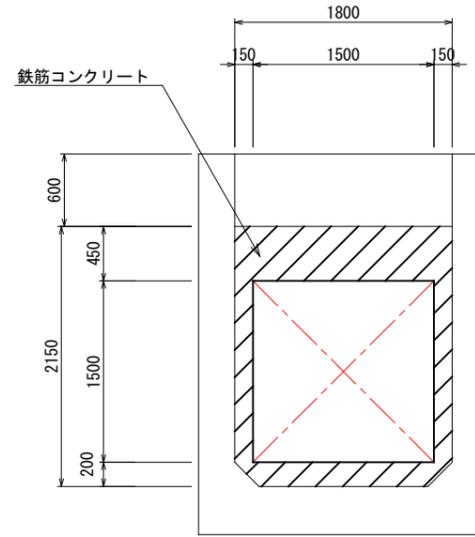
図面番号	6	縮尺	1/50
工種	小原雨水排水ポンプ場機械設備工事		
種別	フラップゲート設置平面図	番	/
路線名	小原雨水排水ポンプ場		
工事箇所	三原市沼田西町小原		
三原市			

フラップゲート構造・配筋図 S=1/30

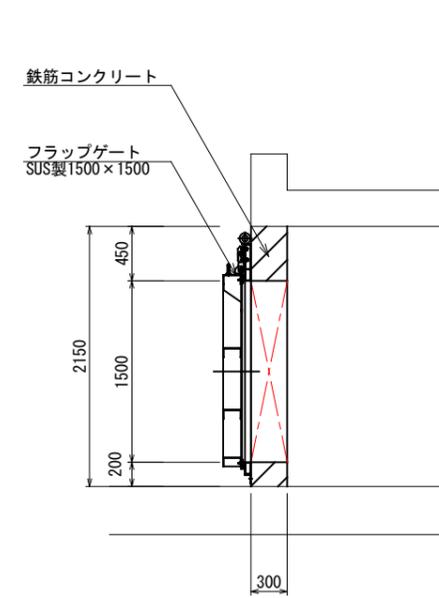
現況横断面図



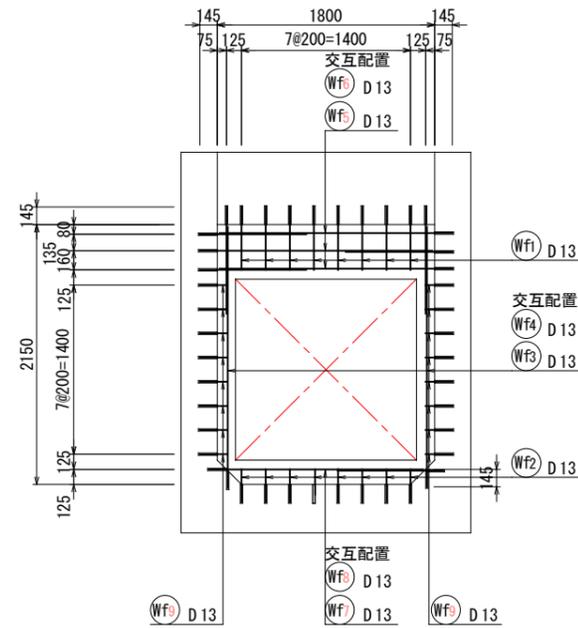
壁構築横断面図



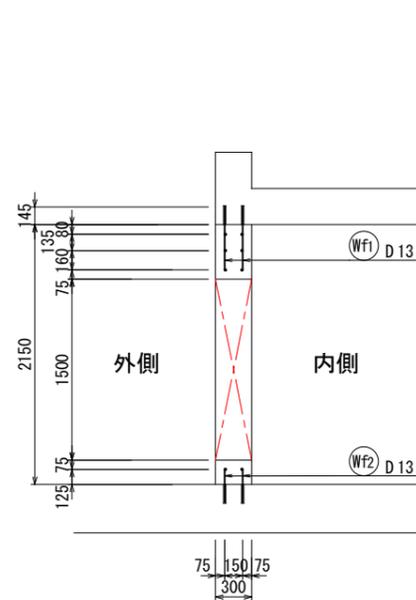
壁構築縦断面図



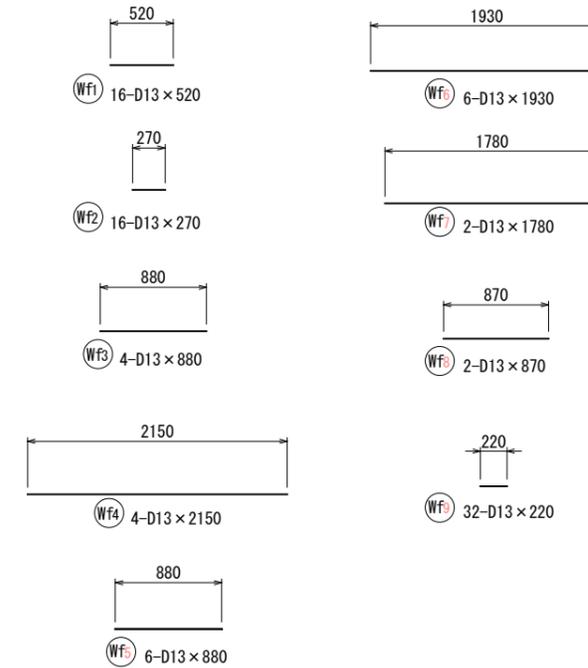
配筋横断面図  
内外共



配筋縦断面図



鉄筋加工図



※ 既設躯体形状は想定であるため、現地を確認の上施工を行うこと。

図面番号	7	縮尺	1/30
工種	小原雨水排水ポンプ場機械設備工事		
種別	フラップゲート構造・配筋図	番号	/
路線 河川名	小原雨水排水ポンプ場		
工事箇所	三原市沼田西町小原		
三原市			

# 参 考 資 料

－小原雨水排水ポンプ場機械設備工事－

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-07.07.01(0)  F 下水道機械設備	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象	1	式			Y48003101F レベル4
機器費	1	式			V0000001001 00
	1	式			単第0 -0001 表
** 機器費 **					
設備工	1	式			Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390031F レベル3
輸送費	1	式			YZ901001001 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 829km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0002 表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 216km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0005 表
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
配管材料費	1	式			V0000001002 00 単第0 -0008 表
補助材料費	1	式			Y49003202F レベル4
補助材料費(率分)	1	式			SY49202F 00 機械設備 単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
労務費					Y390033F レベル3
	1	式			
一般労務費					Y49003301F レベル4
	1	式			
一般労務費					V0000001010 00
	1	式			単第0 -0010 表
機械設備据付労務費					Y49003302F レベル4
	1	式			
機械設備据付労務費					V0000001011 00
	1	式			単第0 -0011 表
複合工費					Y390034F レベル3
	1	式			
撤去工					Y49003401F レベル4
	1	式			
撤去工					V0000001100 00
	1	式			単第0 -0012 表
復旧工					Y49003402F レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
復旧工					V0000001200 00
	1	式			単第0 -0014 表
土工					Y49003403F レベル4
	1	式			
土工					V0000001300 00
	1	式			単第0 -0022 表
鋼製架台工					Y49003405F レベル4
	1	式			
鋼製架台工					V0000001500 00
	1	式			単第0 -0025 表
複合工(フラップゲート)					Y49003404F レベル4
	1	式			
複合工(フラップゲート)					V0000002000 00
	1	式			単第0 -0026 表
直接経費					Y390035F レベル3
	1	式			
機械経費					Y49003503F レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械経費(率分)					SY49503F 00 機械設備 単第0 -0029 表
仮設費	1	式			Y390036F レベル3
仮設費(率分) ポンプ設備工	1	式			SY396F 00 機械設備 単第0 -0030 表
** 直接工事費 **					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
準備費	1	式			YZ902001 レベル3
準備費	1	式			YZ902001001 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	0.7	m3			SPK24040002 00 単第0 -0031 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土受入費 土砂	0.7	m3			F0000001100 00
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.1	m3			SPK24040151 00  単第0 -0032 表
Co殻受入費 無筋	0.1	t			F0000001101 00
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.1	m3			SPK24040151 00  単第0 -0033 表
Co殻受入費 有筋	0.1	t			F0000001102 00
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 共通仮設費 **					
** 純工事費 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 据付工事原価 **					
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 工事原価 **					
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....		機器補正率...			前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
** 一般管理費計 **					
** 工事価格計 **					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					

















# 施工単価表

配管材料費

V0000001002

単第0 -0008 表

頁0 -0017

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
耐溝状腐食電鍍鋼管 350A SGPW-MN	7.0	m			
水配管用亜鉛めっき鋼管 150A SGPW	0.8	m			
水配管用亜鉛めっき鋼管 80A SGPW	5.2	m			
付属材料費	170	%			#01
小配管用管材 配管用ステンレス鋼管 SUS304TP Sch40 350A	5.8	m			
配管用ステンレス鋼管 80A SUS304TP Sch20s	1.5	m			
付属材料費	140	%			#02
小配管弁類 逆止弁（緩閉式） 350	2	個			
小配管弁類 可とう管 350 ゴム	2	個			
小配管弁類 偏心構造弁 80	2	個			
*** 単位当たり ***	1	式			









# 施工単価表

コンクリートはつり  
平均はつり厚3cm以下

SPK24040116

単第0 -0013 表

機械構成比: 1.53% 労務構成比: 95.12% 材料構成比: 3.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 5,008.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>空気圧縮機(エンジンコンプレッサ) 吐出量5m3/min 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.49%		空気圧縮機 [可搬式・エンジン駆動・スクリュ型] 5m3/min		KTPC00030 KTPT00030
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	37.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	31.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	22.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.26%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

復旧工

V0000001200

単第0 -0014 表

頁0 -0024

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1.4	m3			単第0-0015 表
モルタル上塗工(マンホール用)	8.7	m2			単第0-0016 表
モルタル練 高炉	0.1	m3			単第0-0017 表
鉄筋工 SD295_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.1	t			単第0-0018 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.1	m3			単第0-0019 表
基礎碎石 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	1.0	m2			単第0-0020 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	9.1	m2			単第0-0021 表
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

頁0 -0025

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0015 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

モルタル練  
高炉

SPK24040154

単第0 -0017 表

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 83.30% 材料構成比: 16.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 94,888.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

頁0 -0030

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0019 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.90% 労務構成比:

33.90% 材料構成比: 62.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

32,842.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	60.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.78%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0032

基礎碎石

SPK24040034

単第0 -0020 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.27% 労務構成比:

73.08%

材料構成比: 21.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,278.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.24%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.83%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.89%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0021 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		



# 施工単価表

掘削

SPK24040001

単第0 -0023 表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 20.80% 労務構成比:

71.28%

材料構成比: 7.92%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,592.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0024 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,871.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		









# 施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0028 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.30% 労務構成比: 95.32%

材料構成比: 2.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

645.14000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 38~40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009







# 施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0031 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 18.57% 労務構成比:

72.35% 材料構成比: 9.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,167.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=12 距離2.5km以下(1.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

# 施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0032 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,480.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0033 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,838.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 E=1	Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)		B=1 D=34	機械積込 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-07.07.01(0)  G 下水道電気設備	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工（機器費）					Y1800G レベル1
電気設備工	1	式			Y28001G レベル2
電気設備工	1	式			Y280011G レベル3
設計技術費対象	1	式			Y28001101G レベル4
機器費	1	式			V0000001000 00
	1	式			単第0 -0001 表
** 機器費 **					
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390011G レベル3
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 63km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0002 表
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
低圧ケーブル	1	式			V0000001100 00 単第0 -0005 表
制御ケーブル	1	式			V0000001101 00 単第0 -0006 表
その他電線	1	式			V0000001102 00 単第0 -0007 表
電線管類	1	式			V0000001002 00 単第0 -0008 表
接地材料類	1	式			V0000001003 00 単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
プルボックス類	1	式			V0000001004 00 単第0 -0010 表
その他材料	1	式			V0000001005 00 単第0 -0011 表
鋼製加工	1	式			V0000001006 00 単第0 -0012 表
補助材料費	1	式			Y49001202G レベル4
補助材料費（率分）	1	式			SY49202G 00 電気設備 単第0 -0013 表
労務費	1	式			Y390013G レベル3
一般労務費	1	式			Y49001301G レベル4
一般労務費	1	式			V0000001010 00 単第0 -0014 表
技術労務費	1	式			Y49001302G レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術労務費					V0000001011 00
	1	式			単第0 -0015 表
複合工費					Y390014G レベル3
	1	式			
複合工					Y49001402G レベル4
	1	式			
複合工					V0000001020 00
	1	式			単第0 -0016 表
直接経費					Y390015G レベル3
	1	式			
機械経費					Y49001503G レベル4
	1	式			
機械経費(率分)					SY49503G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0027 表
仮設費					Y390016G レベル3
	1	式			
仮設費(率分)					SY396G 00
	1	式			電気設備 単第0 -0028 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 **					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			
準備費					YZ902001001 レベル4
	1	式			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)	3.4	m3			SPK24040002 00  単第0 -0029 表
残土受入費 土砂	3.4	m3			F0000002000 00
共通仮設費率分					Z0010
計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
据付（機 器）間接費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 据付工事原価 **					
設計技術費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計...
** 工事原価 **					
一般管理費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 対象額合計...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

















# 施工単価表

電線管類

V0000001002

単第0 -0008 表

頁0 -0016

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電線管類 VE 16 mm (埋込)	7	m			
付属材料	65	%			#01
電線管類 FEP 100 mm (露出)	1	m			
電線管類 FEP 100 mm (埋込)	7	m			
電線管類 FEP 80 mm (埋込)	13	m			
電線管類 FEP 40 mm (埋込)	6	m			
電線管類 FEP 30 mm (埋込)	13	m			
付属材料	55	%			#02
電線管類 GP 70 mm (露出)	19	m			
電線管類 GP 22 mm (露出)	42	m			
付属材料	155	%			#03
小配管・弁類 防波管塩化ビニル管 肉薄管VU 350	6.6	m			

















# 施工単価表

複合工

V0000001020

単第0 -0016 表

頁0 -0025

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋工 SD295_D10 一般構造物 [規]10t未満	0.1	t			単第0-0017 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			単第0-0018 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.2	m3			単第0-0019 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.1	m3			単第0-0020 表
モルタル上塗工(マンホール用)	1.7	m2			単第0-0021 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	3.6	m2			単第0-0023 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1.5	m2			単第0-0024 表
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	13.1	m3			単第0-0025 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	12.6	m3			単第0-0026 表
再生砂	2.9	m3			
盤基礎 アンカーボルト M12(SS)	8	本			
*** 単位当たり ***	1	式			



# 施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0018 表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0029

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0019 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0020 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.90% 労務構成比:

33.90% 材料構成比: 62.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

32,842.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	60.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.78%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013





# 施工単価表

モルタル練  
高炉

SPK24040154

単第0 -0022 表

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 83.30% 材料構成比: 16.70% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 94,888.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0023 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

9,352.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

# 施工単価表

基礎碎石

SPK24040034

単第0 -0024 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.58% 労務構成比:

77.45%

材料構成比: 16.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,206.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

掘削

SPK24040001

単第0 -0025 表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 20.80% 労務構成比:

71.28%

材料構成比: 7.92%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,592.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0026 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,871.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		







# 施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0029 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離2.5km以下(1.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 18.57% 労務構成比:

72.35% 材料構成比: 9.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,167.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=12 距離2.5km以下(1.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

# 小原雨水排水ポンプ場

## 機械設備工事

### 数量計算書

(機械設備)



据付け費総集計表 (1/2)

設備 (2)

種 別	項 目	形 状 等	摘 要	計 上 数 量		頁
				数 量	単 位	
小配管材料	耐溝状腐食電鍍鋼管	350A SGPW-MN	(建設物価、または積算資料)	6.95	m	
	同上付属材料	350A SGPW-MN	(建設物価、または積算資料)	1	式	
	水配管用垂鉛めっき鋼管	150A SGPW	(建設物価、または積算資料)	0.76	m	
	同上付属材料	150A SGPW	(建設物価、または積算資料)	1	式	
	水配管用垂鉛めっき鋼管	80A SGPW	(建設物価、または積算資料)	5.21	m	
	同上付属材料	80A SGPW	(建設物価、または積算資料)	1	式	
	配管用ステンレス鋼管	350A SUS304TP Sch40	(見積り)	5.84	m	
	同上付属材料	350A SUS304TP Sch40	(見積り)	1	式	
	配管用ステンレス鋼管	80A SUS304TP Sch20s	(建設物価、または積算資料)	1.50	m	
	同上付属材料	80A SUS304TP Sch20s	(建設物価、または積算資料)	1	式	
	逆止弁(緩閉式)	350A 10K FC/SUS	(見積り)	2	個	
	可とう管	350A 10K SS/ゴム	(200mm偏芯、見積り)	2	個	
	偏芯構造弁	80A IOK FC/SUS	(見積り)	2	個	
鋼製架台類	鋼製架台類	SS400		1,440	kg	
	配管サポート類	SS400		103	kg	
	鋼製架台類	SUS304		109	kg	
	グレーチング	SS400 I44×5 クローズエンド		9.05	m <sup>2</sup>	
	グレーチング	SS400 FB25×4.5 クローズエンド		5.10	m <sup>2</sup>	
	溶融亜鉛メッキ	JIS H 8641(HDZT77以上)		1,540	kg	

据付け費総集計表 (2/2)

設備 (3)

種 別	項 目	形 状 等	摘 要	計 上 数 量		頁
				数 量	単 位	
複 合 工	鉄筋コンクリート工	強度24		1.4	m <sup>3</sup>	
	モルタル仕上工	厚20mm 配合1:3		8.7	m <sup>2</sup>	
	モルタル充填工			0.1	m <sup>3</sup>	
	鉄 筋 工	SD295-D13		55	kg	
	掘 削 工			1.2	m <sup>3</sup>	
	埋め戻し工			0.5	m <sup>3</sup>	
	残土処分工			0.7	m <sup>3</sup>	
	捨てコンクリート工			0.05	m <sup>3</sup>	
	栗 石 工			0.10	m <sup>3</sup>	
	はつり工(有筋)			0.02	m <sup>3</sup>	
	ガラ処分工(有筋)			0.1	m <sup>3</sup>	
	チップング工	t=30mm		2.7	m <sup>2</sup>	
	型 枠 工			9.1	m <sup>3</sup>	

項 目	普通作業員	設備機械工	配 管 工	電 工	左 官 工	溶 接 工	は っ り 工		機械設備据付工
機器等据付工	1.25	10.53							11.21
鋳鉄管据付工									
鋼管据付工									
小配管据付工			27.33						
複 合 工									
撤 去 工									
合 計 人 工	1.25	10.53	27.33						11.21
設計書計上工数	1	10	27						11









小配管材料・据付集計表 (2/2)

・ SGPW ・

設備 (9)

管種口径	スルトNo. 付 属 材料費率	1																実数量	設計数量	計上数量	
																		計	65A以下のみ ×1.1		
350A SUS304TP Sch40	材	1.40	5.84															5.84	5.84	5.84	
	据付	屋 内																			
		屋 外	5.84																5.84	5.84	
		埋 設																			
計																					
80A SUS304TP Sch20s	材	1.40	1.5															1.50	2.10	2.10	
	据付	屋 内																			
		屋 外	1.50																1.5	1.50	
		埋 設																			
計																					
	材																				
	据付	屋 内																			
		屋 外																			
		埋 設																			
計																					

小 配 管 据 付 工 (1/2)

・SGP ・SGPW

設備 ( 10 )

屋 内 配 管			
口 径 mm	設計数量 (m)	配 管 工	
		歩 掛(人/m)	人 員 (人)
15		0.13	
20		0.16	
25		0.19	
32		0.23	
40		0.27	
50		0.33	
65		0.41	
80		0.49	
100		0.60	
125		0.74	
150		0.88	
200		1.16	
250		1.44	
300		1.72	
350		1.99	
小 計			

屋 外 配 管			
口 径 mm	設計数量 (m)	配 管 工	
		歩 掛(人/m)	人 員 (人)
15		0.10	
20		0.12	
25		0.15	
32		0.18	
40		0.21	
50		0.26	
65		0.32	
80	5.21	0.39	2.03
100		0.48	
125		0.59	
150	0.76	0.70	0.53
200		0.92	
250		1.15	
300		1.37	
350	6.95	1.61	11.18
小 計			13.74

埋 設 配 管			
口 径 mm	設計数量 (m)	配 管 工	
		歩 掛(人/m)	人 員 (人)
15		0.06	
20		0.07	
25		0.09	
32		0.11	
40		0.12	
50		0.15	
65		0.19	
80		0.21	
100		0.27	
125		0.32	
150		0.40	
200		0.57	
250		0.77	
300		0.93	
350		1.11	
小 計			

小計(A)	配 管 工	13.74	人
-------	-------	-------	---

小数点以下1桁とし、次の位切捨てとする。  
 計算過程においては、小数点以下2桁までとし、次の位切捨てとする。

合		配 管 工
計		

小 配 管 据 付 工 (2/2)

・ SUS304TP Sch40

設備

( 11 )

屋 内 配 管			
口 径 mm	設計数量 (m)	配 管 工	
		歩 掛(人/m)	人 員 (人)
15		0.17	
20		0.20	
25		0.24	
32		0.29	
40		0.35	
50		0.42	
65		0.53	
80		0.63	
100		0.78	
125		0.96	
150		1.14	
200		1.50	
250		1.86	
300		2.22	
350		2.58	
小 計			

屋 外 配 管			
口 径 mm	設計数量 (m)	配 管 工	
		歩 掛(人/m)	人 員 (人)
15		0.13	
20		0.16	
25		0.19	
32		0.23	
40		0.28	
50		0.33	
65		0.42	
80	1.50	0.50	0.75
100		0.62	
125		0.76	
150		0.91	
200		1.20	
250		1.48	
300		1.77	
350	5.84	2.20	12.84
小 計			13.59

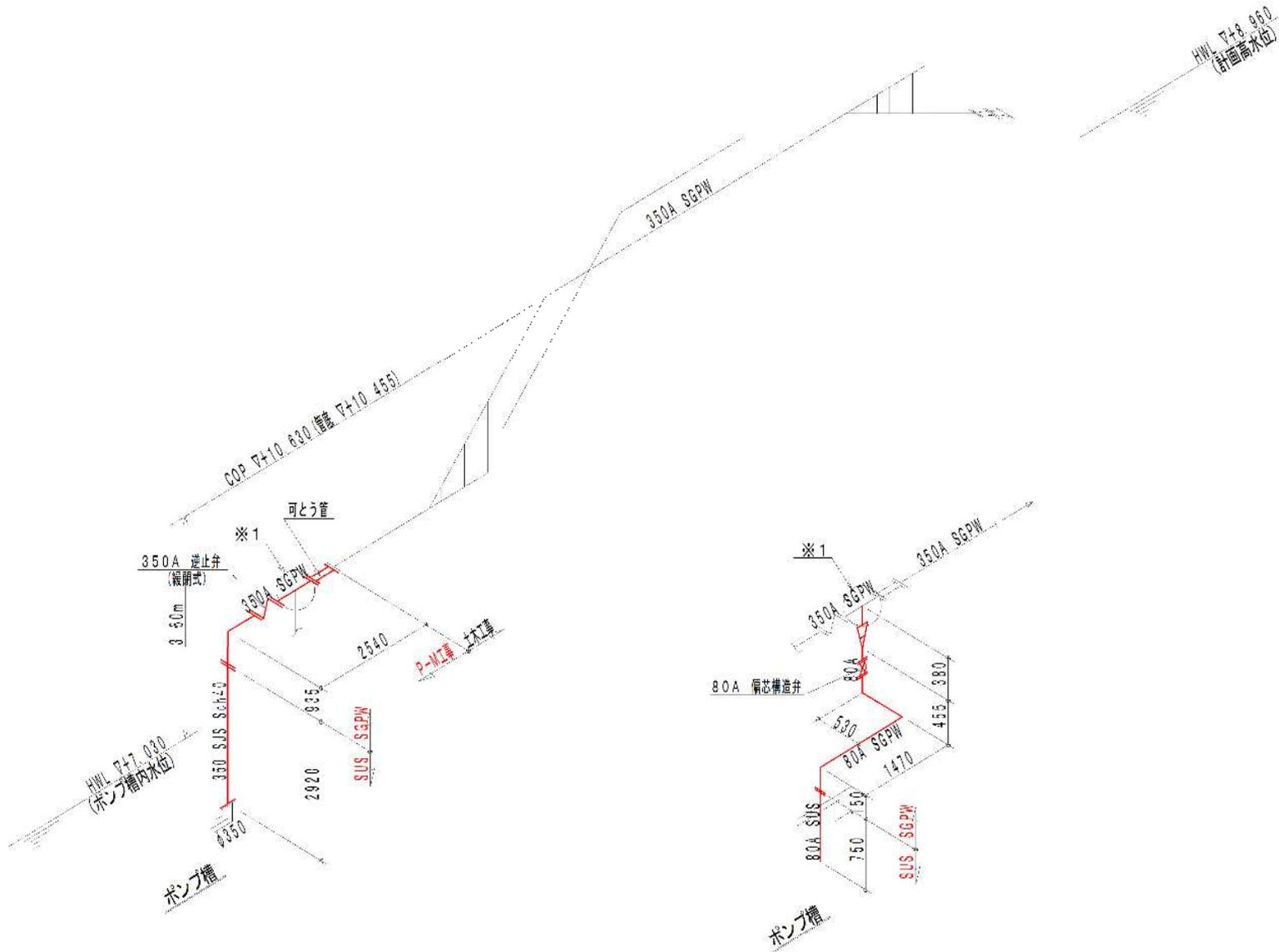
埋 設 配 管			
口 径 mm	設計数量 (m)	配 管 工	
		歩 掛(人/m)	人 員 (人)
15		0.07	
20		0.09	
25		0.11	
32		0.12	
40		0.15	
50		0.19	
65		0.21	
80		0.24	
100		0.35	
125		0.45	
150		0.54	
200		0.75	
250		1.00	
300		1.27	
350		1.50	
小 計			

小計(B)	配 管 工	13.59	人
-------	-------	-------	---

小数点以下1桁とし、次の位切捨てとする。  
 計算過程においては、小数点以下2桁までとし、次の位切捨てとする。

合	(A)+(B)	配 管 工
計		27.33





φ350 ポンプ吐出管スケルトン図

※1印 ポンプ吐出管ドレン詳細スケルトン図

スケルトンNo. 1  
雨水排水管

鋼材料集計表 (1/1)

設備 (14)

名 称	数 量	据付工		鋼製架台類(kg)		配管サポート類(kg)		SS グレーチング (m <sup>2</sup> )		SS グレーチング (m <sup>2</sup> )		溶融亜鉛メッキ(kg)	
		単位重量	計(kg)	SS400	SUS304	SS400	SUS304	クロス・エント <sup>°</sup>	I44×5	クロス・エント <sup>°</sup>	FB25×4.5	SS400	
雨水排水ポンプ上部開口蓋	1式	459.87	459.87	459.87					9.05			459.87	
雨水ポンプ着脱ガイド支持具	1式	108.74	108.74		108.74								
雨水ポンプ吐出管サポート	1式	102.83	102.83			102.83						102.83	
雨水ポンプ槽～堤防側道路渡り歩廊	1式	980.68	980.68	980.68							5.10	980.68	
小 計													
計			1652.12	1440.55	108.74	102.83			9.05		5.10	1543.38	0.00
			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		↓	↓	↓
(端数処理)		(t)	1.652	1440 kg	109 kg	103 kg	kg	kg	9.05 m <sup>2</sup>		5.10 m <sup>2</sup>	1540 kg	0.0 m <sup>2</sup>

↓  
機器等据付表7類へ

↓  
複合工費へ



名称	雨水ポンプ着脱ガイド支持具	数量	1式(2台分)	使用材料	計算式	数量	単位重量	小計		
K-2				[200×100×10	(SUS304、形鋼)					
						3.4 m	3.40 m	30.3 kg/m	103.02	
				PL-9t	(SUS304、板材)					
					$0.2 \times 0.21 \times 2 =$	0.08 m <sup>2</sup>	71.5 kg/m <sup>2</sup>	5.72		
				合計(SUS) (kg)						
名称	雨水ポンプ吐出管サポート	数量	2	使用材料	計算式	数量	単位重量	小計		
K-3				[150×75×6.5	$(0.89+0.8+0.89)*2$	5.16 m	18.6 kg/m	95.98		
				PL-9	$(0.22*0.11)*2*2$	0.097 m <sup>2</sup>	70.65 kg/m <sup>2</sup>	6.85		
				合計(SUS) (kg)						







No	コンクリート工		モルタル工			鉄筋工 SD-295 D13 kg	掘削工 m <sup>3</sup>	埋戻工 m <sup>3</sup>	残土 処理工 m <sup>3</sup>	捨てコン m <sup>3</sup>	栗石工 m <sup>3</sup>	はつり工 (有筋) m <sup>3</sup>	ガラ処分工		型枠工 m <sup>2</sup>
	鉄筋 強度 24 m <sup>3</sup>	無筋 強度 21 m <sup>3</sup>	厚 20mm 配合1:2 m <sup>2</sup>	厚 20mm 配合1:3 m <sup>2</sup>	防 水 m <sup>2</sup>								充填工 m <sup>3</sup>	ガラ(有筋) m <sup>3</sup>	
No. 1 ポンプ槽流入スクリーン基礎						0.066						0.024	0.037	0.420	0.490
No. 2 吐出弁基礎	0.630			4.876		25.20							0.021	0.700	4.176
No. 3 雨水排水ポンプ基礎	0.271			2.60		10.84							0.048	1.60	1.000
No. 4 渡り歩廊脚部基礎						0.014									0.150
No. 5 ポンプ槽側点検階段基礎						0.009									0.120
No. 6 ポンプ槽側点検階段下部基礎						0.012									0.140
No. 7 渡り歩廊脚部基礎	0.476			1.233		19.04	1.197	0.529	0.668	0.048	0.144				3.060
計	1.377			8.709		0.101	55.08	1.197	0.529	0.668	0.048	0.024	0.106	2.72	9.136
設計数量	1.4			8.7		0.1	55	1.2	0.5	0.7	0.05	0.02	0.1	2.7	9.1

複合工及び仮設計算書(1/7)

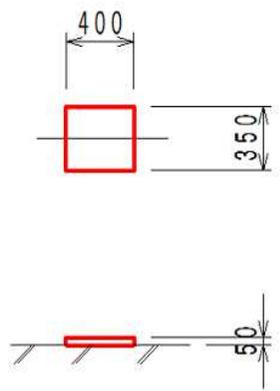
No. 1	名称	数量	1式	コンクリート工	鉄筋 / 無筋 $\sigma = 24 \text{ N/mm}^2$			
	ポンプ槽流入スクリーン基礎				$\text{m}^3$			
				モルタル仕上	厚さ 20mm 配合 1 : 3	$\text{m}^2$		
				モルタル充填	$(1.5 \times 0.1 \times 0.08H) + (0.2 \times 0.2 \times 0.2H) \times 4 + (0.3 \times 0.3 \times 0.08H) \times 3$	<b>0.066</b>	$\text{m}^3$	
				鉄筋工		SD-295 D13	$\text{kg}$	
				チップング工	$(1.5 \times 0.1) + (0.3 \times 0.3) \times 3$ $((1.5 \times 0.1) + (0.3 \times 0.3) \times 3) \times 0.03 = 0.013 \text{ m}^3$	t = 30mm	<b>0.420</b>	$\text{m}^2$
				型枠工	$(1.5 \times 0.05H) \times 2 + (0.2 \times 4 \times 0.05H \times 4) + (0.3 \times 4 \times 0.05H \times 3)$	<b>0.490</b>	$\text{m}^2$	
				はつり工	(鉄筋コンクリートはつり) $(0.2 \times 0.2 \times 0.15H) \times 4$ $(0.2 \times 0.2) \times 4 = 0.16 \text{ m}^2$	<b>0.024</b>	$\text{m}^3$	
				ガラ処分工	(チップング工+はつり工)	<b>0.037</b>	$\text{m}^3$	





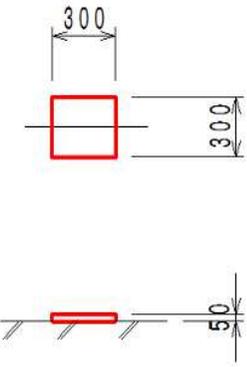
複合工及び仮設計算書(4/7)

No. 4	名称 渡り歩廊脚部基礎 (ポンプ槽固定ピン側×2個)	数量 2	コンクリート工		鉄筋 / 無筋 $\sigma = 24 \text{ N/mm}^2$ m <sup>3</sup>
			モルタル仕上		厚さ 20mm 配合 1:3 m <sup>2</sup>
			モルタル充填	$(0.4 * 0.35 * 0.05H) * 2$	0.014 m <sup>3</sup>
			鉄筋工		SD-295 D13 kg
			チップング工		t = 30mm m <sup>2</sup>
			型枠工	$((0.4 + 0.35) * 2 * 0.05H) * 2$	0.150 m <sup>2</sup>



複合工及び仮設計算書(5/7)

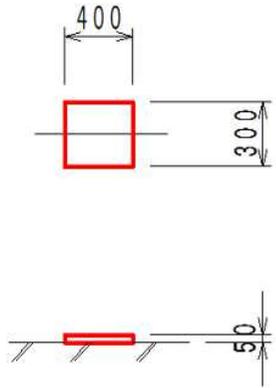
No. 5	名称 ポンプ槽側点検階段基礎	数量 2	コンクリート工		鉄筋 / 無筋 $\sigma = 24 \text{ N/mm}^2$ m <sup>3</sup>
			モルタル仕上		厚さ 20mm 配合 1:3 m <sup>2</sup>
			モルタル充填	$(0.3 * 0.3 * 0.05H) * 2$	0.009 m <sup>3</sup>
			鉄筋工		SD-295 D13 kg
			チップング工		t = 30mm m <sup>2</sup>
			型枠工	$((0.3 + 0.3) * 2 * 0.05H) * 2$	0.120 m <sup>2</sup>



※鉄筋はすべてSD295-D13とする。

複合工及び仮設計算書(6/7)

No. 6	名称 ポンプ槽側点検階段下部基礎	数量 2	コンクリート工		鉄筋 / 無筋 $\sigma = 24 \text{ N/mm}^2$ m <sup>3</sup>
			モルタル仕上		厚さ 20mm 配合 1:3 m <sup>2</sup>
			モルタル充填	$(0.4 * 0.3 * 0.05H) * 2$	0.012 m <sup>3</sup>
			鉄筋工		SD-295 D13 kg
			チップング工		t = 30mm m <sup>2</sup>
			型枠工	$((0.4 + 0.3) * 2 * 0.05H) * 2$	0.140 m <sup>2</sup>



複合工及び仮設計算書(7/7)

No. 7	名称 渡り歩廊脚部基礎 (ポンプ槽ルーズ支点側×2個用一体基礎)	数量 1	コンクリート工	0.85*0.4*1.4L	鉄筋 / 無筋 $\sigma = 24 \text{ N/mm}^2$
					※1 0.476 m <sup>3</sup>
			モルタル仕上	$(0.4*1.4)*(0.4+1.4)*2*$ 平均高さ0.187H	厚さ 20mm 配合 1 : 3
			モルタル充填		1.233 m <sup>2</sup>
			鉄筋工		m <sup>3</sup>
				$0.476 \text{ m}^3 \times 40 \text{ kg/m}^3$	SD-295 D13 19.04 kg
			型枠工	$(0.4+1.4)*2*0.85\text{H}$	3.060 m <sup>2</sup>
			掘削工	$((0.432*1.4)+((0.631*1.024*(1/2)))+(0.376*0.631))$ $+((0.37*0.07*(1/2)))*2.4\text{L}$	※4 1.197 m <sup>3</sup>
			捨てコンクリート	0.05*0.6*1.6L	鉄筋 / 無筋 $\sigma = 21 \text{ N/mm}^2$ ※2 0.048 m <sup>3</sup>
			栗石工	0.15*0.6*1.6L	※3 0.144 m <sup>3</sup>
			埋め戻し工	$1.197 \text{ m}^3 - (\text{※1} + \text{※2} + \text{※3})$	※5 0.529 m <sup>3</sup>
			残土処分工	※4 1.197 m <sup>3</sup> - ※5 0.529	0.668 m <sup>3</sup>

※鉄筋はすべてSD295-D13とする。



数量計算書(フラップゲート)

名 称	形 状 寸 法	算 式	単 位	
チッピング工	目荒し	$A = (1.8 + 2.15) \times 2 \times 0.30$	2.37 m <sup>2</sup>	2.37
鉄筋組立加工	SD345 D13	Wf1 $16 \times 0.52 \times 0.995$	8.278 kg	
		Wf2 $16 \times 0.27 \times 0.995$	4.298 kg	
		Wf3 $4 \times 0.88 \times 0.995$	3.502 kg	
		Wf4 $4 \times 2.150 \times 0.995$	8.557 kg	
		Wf5 $6 \times 0.88 \times 0.995$	5.254 kg	
		Wf6 $6 \times 1.93 \times 0.995$	11.522 kg	
		Wf7 $2 \times 1.78 \times 0.995$	3.542 kg	
		Wf8 $2 \times 0.87 \times 0.995$	1.731 kg	
		Wf9 $2 \times 0.22 \times 0.995$	0.438 kg	
				合計
樹脂アンカー	D13用Φ16 L=156 上向き	N= 10×2	20.00 本	20
	D13用Φ16 L=156 横向き	N= 12×2×2	48.00 本	48
	D13用Φ16 L=156 下向き	N= 10×2	20.00 本	20
型枠工	鉄筋Co	$A = (2.15 \times 1.8 - 0.2 \times 0.2 - 1.5 \times 1.5) \times 2$	3.16 m <sup>2</sup>	
		$A = 1.5 \times 4 \times 0.3$	1.80 m <sup>2</sup>	
		合計	4.96 m <sup>2</sup>	4.96
コンクリート	$\sigma_{ck} = 24 \text{N/mm}^2$	$V = (2.15 \times 1.8 - 0.2 \times 0.2 - 1.5 \times 1.5) \times 0.3$	0.47 m <sup>3</sup>	0.47
フラップゲート	SUS製1500×1500	N= 1	1 基	1
足場工	枠組足場	$A = (2.15 \times 1.8 - 0.2 \times 0.2) \times 2$	7.66 m <sup>2</sup>	7.66

# 小原雨水排水ポンプ場

## 機械設備工事

### 数量計算書

(電気設備)



## 材料数量

(\*) 印は工量無

[電気設備工事]

( 1 )	低圧ケーブル	600V CVT 100 sq	m	13
( 2 )	低圧ケーブル	600V CE/F 22 sq- 3 c	m	53
( 3 )	低圧ケーブル	600V CE/F 2 sq- 3 c	m	14
( 4 )	低圧ケーブル	600V CE/F 2 sq- 2 c	m	13
( 5 )	制御ケーブル	CEE/F 1.25 sq- 4 c	m	26
( 6 )	制御ケーブル	CEE/F-S 1.25 sq- 6 c	m	11
( 7 )	制御ケーブル	CEE/F-S 1.25 sq- 2 c	m	13
( 8 )	制御ケーブル	専用ケーブル	m	2
( 9 )	その他電線	IE/F 14 sq	m	12
(10)	その他電線	IE/F 8 sq	m	26
(11)	その他電線	IE/F 5.5 sq	m	2
(12)	端末処理材	600V CVT 100 sq	組	4 (*)
(13)	端末処理材	600V CE/F 22 sq- 3 c	組	8 (*)
(14)	電線管類	VE 16 mm (埋込)	m	7
(15)	電線管類	FEP 100 mm (露出)	m	1
(16)	電線管類	FEP 100 mm (埋込)	m	7
(17)	電線管類	FEP 80 mm (埋込)	m	13
(18)	電線管類	FEP 40 mm (埋込)	m	6
(19)	電線管類	FEP 30 mm (埋込)	m	13
(20)	電線管類	GP 70 mm (露出)	m	19
(21)	電線管類	GP 22 mm (露出)	m	42
(22)	接地装置	接地棒 φ14*1500	本	2 (*)
(23)	接地装置	接地棒用リード端子 φ14用	本	2 (*)
(24)	接地装置	接地埋設標 140*90*1.5t黄銅製	枚	2
(25)	接地装置	接地埋設標 コンクリート製	本	2

## 材料数量

(\*) 印は工量無

[電気設備工事]

(26)	小配管, 弁類	防波管塩化ビニル管 肉薄管VU 350φ	m	6.6
(27)	その他器具	場内照明 ポール灯LTS4-60	灯	1
(28)	盤基礎	アンカーボルト M12(SS)	本	8 (*)
(29)	盤基礎	鉄筋 D 10	kg	18.2 (*)
(30)	盤基礎	鉄筋コンクリート 24N/mm2	m3	0.35 (*)
(31)	盤基礎	無筋コンクリート 18N/mm2	m3	0.2 (*)
(32)	盤基礎	捨てコンクリート 18N/mm2	m3	0.07 (*)
(33)	盤基礎	モルタル仕上げ 30mm	m <sup>2</sup>	1.70 (*)
(34)	盤基礎	型枠	m <sup>2</sup>	3.6 (*)
(35)	盤基礎	碎石	m3	0.15 (*)
(36)	土工事	掘削	m3	13.1 (*)
(37)	土工事	埋戻し	m3	9.72 (*)
(38)	土工事	残土処理	m3	3.42 (*)
(39)	土工事	山砂	m3	2.90 (*)
(40)	鋼材加工	鋼材加工, (SUS)	kg	26.30 (*)
(41)	電線管類	ベルマウス FEP 100φ用	個	1 (*)
(42)	電線管類	ベルマウス FEP 80φ用	個	4 (*)
(43)	電線管類	ベルマウス FEP 40φ用	個	2 (*)
(44)	電線管類	ベルマウス FEP 30φ用	個	4 (*)
(45)	電線管類	ケーブル埋設標 コンクリート製	本	2
(46)	電線管類	ケーブル埋設シート	m	11
(47)	電線管類	プルボックス (SUS-WP) 600*600*300	個	1
(48)	電線管類	プルボックス (SUS-WP) 150*150*100	個	1
(49)	一般労務費	電 工 (据付)	人	30
(50)	一般労務費	配管工 (据付)	人	2





機 器 名 称	形 状	単 位	数 量	技 術 者		電 工		技 術 者 単 体 調 整				歩 掛 ペ ー ジ	機 器 重 量 (t)		備 考
				単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量	単 位 工 量	工 量		単 位 重 量	重 量	
引込開閉器盤	屋外装柱形 W500*H800*D300	面	1		0.88		1.9								現場操作盤6 壁掛形 W500*H600
ポンプ制御盤	W900*H1600*D600	面	1		1.6		4.3								動力制御盤2 W1000*H2300*D600
投込式水位計	投込式水位計	組	1		0.41		1.3		1.3						計装設備 検出端等 発信器類
フリクトレベルスイッチ	フリクトスイッチ	組	1		0.6		1.1								計装設備 検出端等 液位検出端
計 (S-101)					3.49		8.6		1.3						



材 料 集 計 表 - 1

[電気設備工事]

内訳区分	600V CVT				600V CE/F				600V CE/F				600V CE/F				CEE/F			
	100 sq				22 sq				2 sq				2 sq				1.25 sq			
	3 c				3 c				3 c				2 c				4 c			
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CHK ( 1- 1)			5.0	7.4			24.8	24.0			7.2	6.0			5.0	7.4			12.4	12.0
合計値 (A)			5.0	7.4			24.8	24.0			7.2	6.0			5.0	7.4			12.4	12.0
合計数量 (A')																				
補完率 (B)	1.1				1.1				1.1				1.1				1.1			
(C)=(A')×(B)			5.5	8.14			27.28	26.4			7.92	6.6			5.5	8.14			13.64	13.2
補完数量 (C')																				
設計数量 (D)=Σ(C')	13				53				14				13				26			
電工単位工量(E)=(E0)	0.088	0.13	0.11	0.099	0.037	0.056	0.047	0.042	0.016	0.025	0.021	0.018	0.013	0.020	0.017	0.015	0.015	0.022	0.019	0.017
電工量 (C')×(E)			0.605	0.80586			1.28216	1.1088			0.16632	0.1188			0.0935	0.1221			0.25916	0.2244

C- 1 / 6

電工量小計= 4.7861

材 料 集 計 表 - 2

[電気設備工事]

内訳区分	CEE/F-S				CEE/F-S				専用ケーブル				IE/F				IE/F			
	1.25 sq				1.25 sq								14 sq				8 sq			
	6 c				2 c															
	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP
CHK ( 1- 2)			4.8	6.0			6.2	6.0			2.6				7.4	3.8			24.4	
合計値 (A)			4.8	6.0			6.2	6.0			2.6				7.4	3.8			24.4	
合計数量 (A')																				
補完率 (B)	1.1				1.1				1.1				1.1				1.1			
(C)=(A')×(B)			5.28	6.6			6.82	6.6			2.86				8.14	4.18			26.84	
補完数量 (C')																				
設計数量 (D)=Σ(C')	11				13				2				12				26			
電工単位工量(E)=(E0)	0.020	0.030	0.025	0.022	0.012	0.018	0.015	0.013	0.012	0.018	0.015	0.013	0.016	0.024	0.020	0.018	0.012	0.019	0.016	0.014
電工量 (C')×(E)			0.132	0.1452			0.1023	0.0858			0.0429				0.1628	0.07524			0.42944	

C- 2 / 6

電工量小計= 1.17568

材 料 集 計 表 - 3

[電気設備工事]

内訳区分	IE/F															
	5.5 sq															
	P&D	RACK	CP	FEP												
CHK ( 1- 3)				2.6												
合計値 (A)				2.6												
合計数量 (A')																
補完率 (B)	1.1															
(C)=(A')×(B)				2.86												
補完数量 (C')																
設計数量 (D)=Σ (C')	2															
電工単位工量(E)=(E0)	0.011	0.016	0.014	0.012												
電工量 (C')×(E)				0.03432												

C- 3 / 6

電工量小計= 0.03432

材 料 集 計 表 - 4

[電気設備工事]

内訳区分	600V CVT端末処理材				600V CE/F端末処理材											
	100 sq				22 sq											
	屋外	屋内			屋外	屋内										
CHK ( 1- 3)	4				8											
合計値 (A)	4				8											
設計数量 (D)	4				8											
電工単位工量(E)=(E0)																
電工量 (A)×(E)																

C- 4 / 6

材 料 集 計 表 - 5

[電気設備工事]

内訳区分	VE				FEP				FEP				FEP							
	16 mm				100 mm				80 mm				40 mm				30 mm			
	露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
CHK ( 1- 3)		6.4			1.0	6.4				12.0				6.0				12.0		
CHK ( 1- 4)																				
合計値 (A)		6.4			1.0	6.4				12.0				6.0				12.0		
合計数量 (A')																				
補完率 (B)		1.1				1.1				1.1				1.1				1.1		
(C)=(A')×(B)		7.04			1.1	7.04				13.2				6.6				13.2		
補完数量 (C')																				
設計数量 (D)=(C')		7			1	7				13				6				13		
電工単位工量(E)=(E0)	0.052	0.044			0.060	0.060			0.045	0.045			0.031	0.031			0.026	0.026		
電工量 (C')×(E)		0.30976			0.066	0.4224				0.594				0.2046				0.3432		

C- 5 / 6

電工量小計= 1.93996

材 料 集 計 表 - 6

[電気設備工事]

内訳区分	GP				GP											
	70 mm				22 mm											
	露出	埋込			露出	埋込										
CHK ( 1- 4)	17.4				38.2											
合計値 (A)	17.4				38.2											
合計数量 (A')																
補完率 (B)		1.1				1.1										
(C)=(A')×(B)	19.14				42.02											
補完数量 (C')																
設計数量 (D)=(C')	19				42											
電工単位工量(E)=(E0)	0.31	0.26			0.096	0.080										
電工量 (C')×(E)	5.9334				4.03392											

C- 6 / 6

電工量小計= 9.96732

材 料 集 計 表 - 7

[電気設備工事]

内訳書番号	接地装置	接地装置	接地装置	接地装置	小配管, 弁類	その他器具	盤基礎	盤基礎
	接地棒	接地棒用 リード端子	接地埋設標	接地埋設標	防波管 塩化ビニル管 肉薄管	場内照明	アンカーボルト	鉄筋
	φ14*1500	φ14用	140*90*1.5t 黄銅製	コンクリート製	VU 350 φ	ボール灯 LTS4-60	M12(SS)	D 10
	本	本	枚	本	m	灯	本	kg
ZHK ( 1- 1)	2	2	2	2	3.3	1	8	18.19
合計値 (A)	2	2	2	2	3.3	1	8	18.19
設計数量 (D)=(A)								
電工 単位工量 (E)			0.11	0.2		1.84		
工 量 (A)×(E)			0.22	0.4		1.84		
配管工 単位工量 (E)					0.79			
工 量 (A)×(E)					2.607			

Z- 1 / 4

電工量小計=

2.46

配管工量小計=

2.607

材 料 集 計 表 - 8

[電気設備工事]

内訳書番号	盤基礎	盤基礎	盤基礎	盤基礎	盤基礎	盤基礎	土工事	土工事
	鉄筋 コンクリート	無筋 コンクリート	捨て コンクリート	モルタル 仕上げ	型枠	砕石	掘削	埋戻し
	24N/mm2	18N/mm2	18N/mm2	30mm				
	m3	m3	m3	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m3	m3	m3
ZHK ( 1- 2)	0.35	0.19	0.07	1.70	3.62	0.15	13.14	9.72
合計値 (A)	0.35	0.19	0.07	1.70	3.62	0.15	13.14	9.72
設計数量 (D)=(A)								

Z- 2 / 4



新設

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		600V CVT				600V CE/F				600V CE/F				600V CE/F				CEE/F			
			100 sq				22 sq				2 sq				2 sq				1.25 sq			
			3 c				3 c				2 c				4 c							
		P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	
1001	引込点	引込開閉器盤			5.0																	
1002	引込点	引込開閉器盤															5.0					
1003	引込開閉器盤	ポンプ制御盤				7.4																
1004	引込開閉器盤	ポンプ制御盤																7.4				
1005	ポンプ制御盤	No.1排水ポン						6.8x2	6.0x2													
1006	ポンプ制御盤	No.1排水ポン																			6.8	6.0
1007	ポンプ制御盤	No.2排水ポン						5.6x2	6.0x2													
1008	ポンプ制御盤	No.2排水ポン																			5.6	6.0
1012	ポンプ制御盤	外灯											7.2	6.0								
( 1/4)	CHK ( 1- 1)				5.0	7.4			24.8	24.0			7.2	6.0			5.0	7.4			12.4	12.0

新設

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		CEE/F-S				CEE/F-S				専用ケーブル				IE/F				IE/F			
			1.25 sq				1.25 sq								14 sq				8 sq			
			6 c				2 c															
		P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	P&D	RACK	CP	FEP	
1003	引込開閉器盤	ポンプ制御盤															7.4					
1005	ポンプ制御盤	No.1排水ポン																			12.8	
1007	ポンプ制御盤	No.2排水ポン																			11.6	
1009	ポンプ制御盤	水位計 (投込						6.2	6.0													
1010	ブルボックス2	水位計 (投込											2.6									
1011	ポンプ制御盤	水位計 (フロ			4.8	6.0																
1013	ポンプ制御盤	D種接地																			3.8	
( 2/4)	CHK ( 1- 2)				4.8	6.0			6.2	6.0			2.6				7.4	3.8			24.4	

新設

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		IE/F				600V CVT端末処理材				600V CE/F端末処理材				VE				FEP			
			5.5 sq				100 sq				22 sq				16 mm				100 mm			
			P&D	RACK	CP	FEP	屋外	屋内			屋外	屋内			露出	埋込			露出	埋込		
1001	引込点	引込開閉器盤					2															
1003	引込開閉器盤	ポンプ制御盤					2											1.0	6.4			
1005	ポンプ制御盤	No.1排水ポン								4												
1007	ポンプ制御盤	No.2排水ポン								4												
1013	ポンプ制御盤	D種接地															3.8					
1014	ポンプ制御盤	C種接地				2.6											2.6					
( 3/4)	CHK ( 1- 3)					2.6	4					8					6.4			1.0	6.4	

新設

材 料 内 訳 表

NO	配線区間 自 至		FEP				FEP				FEP				GP				GP			
			80 mm				40 mm				30 mm				70 mm				22 mm			
			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込			露出	埋込		
1001	引込点	引込開閉器盤															5.0					
1002	引込点	引込開閉器盤																		5.0		
1005	ポンプ制御盤	No.1排水ポン															6.8					
1006	ポンプ制御盤	No.1排水ポン																		6.8		
1007	ポンプ制御盤	No.2排水ポン															5.6					
1008	ポンプ制御盤	No.2排水ポン																		5.6		
1009	ポンプ制御盤	水位計 (投込)																		6.2		
1010	ブルボックス2	水位計 (投込)																		2.6		
1011	ポンプ制御盤	水位計 (フロ)																		4.8		
1012	ポンプ制御盤	外灯																		7.2		
1015	ポンプ制御盤	ブルボックス1		6.0x2																		
1016	ポンプ制御盤	ブルボックス1					6.0															
1017	ポンプ制御盤	ブルボックス1									6.0x2											
( 4/4)	CHK ( 1- 4)			12.0			6.0				12.0						17.4			38.2		





No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1001	引込点	引込開閉器盤	600V CVT 100 sq 端末屋外 x 2	P&D		
				RACK		
				CP	5.0	(5.0)
				FEP		
			GP 70 mm	露出	5.0	(5.0)
				埋込		
1002	引込点	引込開閉器盤	600V CE/F 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.0	(5.0)
				FEP		
			GP 22 mm	露出	5.0	(5.0)
				埋込		
1003	引込開閉器盤	ポンプ制御盤	600V CVT 100 sq 端末屋外 x 2	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	7.4	(1.0)+ (0.6)+ 2.0 + 3.2 + (0.6)
			IE/F 14 sq	CP	7.4	(1.0)+ (0.6)+ 2.0 + 3.2 + (0.6)
			FEP 100 mm	露出	1.0	(1.0)
				埋込	6.4	(0.6)+ 2.0 + 3.2 + (0.6)
1004	引込開閉器盤	ポンプ制御盤	600V CE/F 2 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	7.4	(1.0)+ (0.6)+ 2.0 + 3.2 + (0.6)
				露出		
				埋込		
1005	ポンプ制御盤	No.1排水ポン プ	600V CE/F 22 sq - 3 c x 2 端末屋外 x 4	P&D		
				RACK		
				CP	6.8	2.6 + 1.6 + 1.2 + 1.4
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			IE/F 8 sq	CP	12.8	(0.6)+ 5.4 + 2.6 + 1.6 + 1.2 + 1.4
			GP 70 mm	露出	6.8	2.6 + 1.6 + 1.2 + 1.4
				埋込		

新設 ( 2/ 4)

拾い出し根拠表

[気設備工事]

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1006	ポンプ制御盤	No. 1排水ポンプ	CEE/F 1.25 sq - 4 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.8	2.6 + 1.6 + 1.2 + 1.4
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			GP	22 mm	6.8	2.6 + 1.6 + 1.2 + 1.4
			埋込			
1007	ポンプ制御盤	No. 2排水ポンプ	600V CE/F 22 sq - 3 c x 2 端末屋外 x 4	P&D		
				RACK		
				CP	5.6	2.6 + 1.6 + 1.4
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			IE/F	8 sq	11.6	(0.6)+ 5.4 + 2.6 + 1.6 + 1.4
			GP	70 mm	5.6	2.6 + 1.6 + 1.4
			埋込			
1008	ポンプ制御盤	No. 2排水ポンプ	CEE/F 1.25 sq - 4 c	P&D		
				RACK		
				CP	5.6	2.6 + 1.6 + 1.4
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			GP	22 mm	5.6	2.6 + 1.6 + 1.4
						埋込
1009	ポンプ制御盤	水位計 (投込式)	CEE/F-S 1.25 sq - 2 c	P&D		
				RACK		
				CP	6.2	2.6 + 1.6 + 1.2 + 0.8
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			GP	22 mm	6.2	2.6 + 1.6 + 1.2 + 0.8
						埋込
1010	プルボックス 2	水位計 (投込式)	専用ケーブル	P&D		
				RACK		
				CP	2.6	2.2 + 0.4
				FEP		
			GP	22 mm	2.6	2.2 + 0.4
						埋込

No	自	至	種別・サイズ・本数	経路	合計	計 算
1011	ポンプ制御盤	水位計 (フロートスイッチ)	CEE/F-S 1.25 sq - 6 c	P&D		
				RACK		
				CP	4.8	2.6 + 2.2
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			GP 22 mm	露出	4.8	2.6 + 2.2
				埋込		
1012	ポンプ制御盤	外灯	600V CE/F 2 sq - 3 c	P&D		
				RACK		
				CP	7.2	2.6 + 1.6 + 1.2 + 0.8 + 1.0
				FEP	6.0	(0.6)+ 5.4
			GP 22 mm	露出	7.2	2.6 + 1.6 + 1.2 + 0.8 + 1.0
				埋込		
1013	ポンプ制御盤	D種接地	IE/F 14 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	3.8	(0.6)+ 3.2
			VE 16 mm	露出		
				埋込	3.8	(0.6)+ 3.2
1014	ポンプ制御盤	C種接地	IE/F 5.5 sq	P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP	2.6	(0.6)+ 2.0
			VE 16 mm	露出		
				埋込	2.6	(0.6)+ 2.0
1015	ポンプ制御盤	プルボックス 1		P&D		
				RACK		
				CP		
				FEP		
			FEP 80 mm x 2	露出		
				埋込	6.0	(0.6)+ 5.4





# 複合工計算書

第1-2号	地中電路2	数量	5.4m	名称形状	計算式	計	備考
<p>埋設標 ヘルマウス</p> <p>掘削長 5.4m = 5.4</p> <p>掘削深さ 0.6m</p>				掘削	$0.93/2 \times (1.4+0.72) \times 5.4=5.323 \rightarrow 5.3$	5.3 m3	
				埋戻し	$5.32332-0.43/2 \times (1.03+0.72) \times 5.4=3.291 \rightarrow 3.3$	3.3 m3	
				山砂	$0.43/2 \times (1.03+0.72) \times 5.4=2.031 \rightarrow 2$	2 m3	
				残土処理	$5.323-3.292 = 2.031 \rightarrow 2$	2 m3	
				ケーブル埋設標	コンクリート製	1 本	材料へ
				ケーブル埋設シート	2倍	5.4 m	材料へ
				ヘルマウス	FEP 30 : 4個 FEP 40 : 2個 FEP 80 : 4個		材料へ

**波付硬質合成樹脂管地中埋設段数表**

	a		x		x		a														
3段目																					
2段目	200	80	70	30	50	14	200														
1段目	200	80	70	40	50	30	200														

参考⇒ ハンドホール幅：0.7m以上、ハンドホール深さ：1m以上

呼び径	外径	x	y
FEP 30	40	50	50
FEP 40	55		
FEP 50	65		
FEP 65	85		
FEP 80	105	70	70
FEP 100	130		
FEP 125	160		
FEP 150	190		
FEP 200	250		

d	300以上	
段	1	2以上
a	150	200
b	50	
c	100	

# 複合工計算書

第1-3号	接地極掘削	数量	1箇所	名称	形状	計算式	計	備考
<p>※引込開閉器盤～ポンプ制御盤の間に設置する接地極の土工は地中電路1に含む</p>				掘削		$0.75/6 \times \{ (2 \times 0.95 + 0.4) \times 0.95 + (2 \times 0.4 + 0.95) \times 0.4 \}$ $= 0.36 \rightarrow 0.4$	0.4 m3	
				埋戻し		$0.75/6 \times \{ (2 \times 0.95 + 0.4) \times 0.95 + (2 \times 0.4 + 0.95) \times 0.4 \}$ $= 0.36 \rightarrow 0.4$	0.4 m3	
				接地棒	φ14*1500		2 本	材料へ
				接地棒用 リード端子	φ14用		2 本	材料へ
				接地埋設標	140*90 *1.5t 黄銅製		2 枚	材料へ
				接地埋設標	コンクリート製		2 本	材料へ

# 複 合 工 計 算 書

第1-4号	屋外盤基礎	数量	1箇所	名称	形状	計 算 式	計	備 考
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>配筋ピッチ: 200mm かぶり厚さ: 50mm 余長: 8d 以上</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>①(5+4) × 2=18本 ②3 × 2=6(幅方向) ③3 × 2=6(奥行方向) ④5 × 2=10本 ⑤3 × 2=6本</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>側面 本数: <math>\{1-(0.05 \times 2)\} \div 0.2=4.5 \rightarrow 5</math> (縦筋)  <math>\{0.7-(0.05 \times 2)\} \div 0.2+1=4 \rightarrow 4</math>              側面 本数: <math>\{0.5-(0.05 \times 2)\} \div 0.2+1=3 \rightarrow 3</math> (横筋)              上低面 縦筋: <math>\{1-(0.05 \times 2)\} \div 0.2=4.5 \rightarrow 5</math>              上低面 横筋: <math>\{0.7-(0.05 \times 2)\} \div 0.2=3 \rightarrow 3</math></p> </div>				掘削	自立型	$0.45/6 \times \{(2 \times 2.4+2) \times 2.1+(2 \times 2+2.4) \times 1.7\}$ =1.887	1.89 m3	
				埋戻し		1.887-0.372=1.515	1.52 m3	
				残土処理		$1 \times 0.7 \times 0.3+1.2 \times 0.9 \times 0.15=0.372$	0.37 m3	
				捨て コンクリート	t=50mm	$1.2 \times 0.9 \times 0.05=0.054$	0.05 m3	
				砕石基礎	t=100mm	$1.2 \times 0.9 \times 0.1=0.108$	0.11 m3	
				型枠		$1 \times 0.5 \times 2+0.7 \times 0.5 \times 2=1.7$	1.7 m2	
				鉄筋	D10 (0.56kg/m)	$(0.4 \times 18+0.9 \times 6+0.6 \times 6+0.6 \times 6+0.9 \times 10+0.01 \times 8 \times 46) \times 0.56$ =18.188	18.19 kg	
				鉄筋 コンクリート	24N/mm2	$1 \times 0.7 \times 0.5=0.35$	0.35 m3	
				モルタル 仕上げ	t=30mm	$1 \times 0.7+0.2 \times 1 \times 2+0.2 \times 0.7 \times 2=1.38$	1.38 m2	
				アンカー ボルト	M12	4	4 本	材料へ



# 複 合 工 計 算 書

第1-6号	外灯基礎	数量	1箇所	名称	形状	計 算 式	計	備 考
				掘削		$0.77/6 \times \{ (2 \times 2 + 1.4) \times 2 + (2 \times 1.4 + 2) \times 1.4 \}$ =2.248	2.25 m <sup>3</sup>	
				埋戻し		2.248-0.153=2.095	2.1 m <sup>3</sup>	
				残土処理		$0.4 \times 0.4 \times 0.62 + 0.6 \times 0.6 \times 0.15 = 0.153$	0.15 m <sup>3</sup>	
				捨て コンクリート	t = 50mm	$0.6 \times 0.6 \times 0.05 = 0.018$	0.02 m <sup>3</sup>	
				砕石基礎	t = 100mm	$0.6 \times 0.6 \times 0.1 = 0.036$	0.04 m <sup>3</sup>	
				型枠		$0.4 \times 1.2 \times 2 + 0.4 \times 1.2 \times 2 = 1.92$	1.92 m <sup>2</sup>	
				無筋コンクリート	18N/mm <sup>2</sup>	$0.4 \times 0.4 \times 1.2 = 0.192$	0.19 m <sup>3</sup>	
				モルタル 仕上げ	t = 30mm	$0.4 \times 0.4 + 0.1 \times 0.4 \times 2 + 0.1 \times 0.4 \times 2 = 0.32$	0.32 m <sup>2</sup>	
				アンカー ボルト	M12	4	4 本	材料へ

# 位置図

(34.4026020567406, 132.989679243929)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。